

CTK-591

取扱説明書（保証書別添）

ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、
正しくお使いください。

本書は、お読みになったあとも、大切に保管して
ください。






安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。



警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機指定のACアダプターを使用する
- 電源は、AC100V (50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない



ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する



ACアダプターについて

濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。



⚠ 警告**電池について**

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れる

**火中に投入しない**

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

**水、異物はさける**

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。



1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

**落とさない、ぶつけない**

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

**⚠ 警告****袋をかぶらない、飲み込まない**

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**本機やスタンド*に乗らない**

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。

**不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

**⚠ 注意****ACアダプターについて**

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体を持って抜く)

**ACアダプターについて**

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する



⚠ 注意

移動させるときは

移動させる場合は、必ず AC アダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れについて

お手入れの際は、AC アダプター本体をコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく



コネクター部への接続

コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙があたるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所



⚠ 注意

表示画面について

- 表示画面の液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。
- 目に入った、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。



音量について

大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。



重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



スタンド※は正しく組み立てる

スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。



スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。

※スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。
- マイクの音量が小さくなった。
- マイクの音質が劣化した。
- マイクを使うと電源ランプが暗くなる。
- マイクを使うと電源が切れる。
- MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。

主な特長

本機は次のような特長を備えたキーボードです。

■ 255 音色で演奏できます。(255 音色) 16 ページ

ステレオピアノやシンセサウンド、ドラムセットなど豊富な音色を備えています。

■ ピアノの演奏や練習に便利な“ピアノバンクボタン” 付きです。18 ページ

ボタン一つで、ピアノ音色とピアノ曲が選択されます。

■ 内蔵曲を練習して、できばえを採点することができます。(アドバンスド3ステップレッスン) 23 ページ

3ステップレッスン機能で自分のペースで気軽に練習できます。また、採点機能で練習したできばえを確認しながら、ステップアップすることができます。

- 3ステップレッスン機能：内蔵曲をパートごとに3つのステップにわけて練習できます。液晶画面にガイドされる鍵盤表示を追いかけて練習することができます。
- 採点機能：ステップ1、2で練習した成果をそれぞれ採点することができます。また、レッスン中や終了後に採点状況を表示と音声で知らせてくれます。

■ 曲に合わせて歌うことができます。30 ページ

内蔵曲にあわせてカラオケのように歌うことができます。マイク端子に市販のマイクをつないで、歌ってみましょう。

■ ピアノ曲をはじめ、100 曲の内蔵曲を鳴らして楽しむことができます。19 ページ

本機の内蔵曲には、ソングバンク（自動伴奏曲：50 曲）、ピアノバンク（ピアノ曲：50 曲）の2つのグループがあります。曲を聴いたり、自動伴奏曲のメロディーパートやピアノ曲の片方のパートを消して、その部分を自分で弾いたりすることができます。

■ 120 種類のリズムに合わせて演奏できます。(120 リズム) 32 ページ

ロックやポップス、ジャズなど120種類のリズムを備えています。

■ 一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。(自動伴奏機能) 33 ページ

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。また、リズムごとにプログラムされた、リズムにふさわしい音色、テンポ設定などを瞬時に呼び出すことも可能です（ワンタッチプリセット機能）。

■ 大型液晶画面がキーボードの弾き方を示します。(ミュージカルインフォメーションシステム) 20 ページ

大型液晶画面に鍵盤を押さえるための指使いや、鍵盤情報、五線譜などを表示し、キーボード演奏の手助けをします。指使いや鍵盤情報はキーボード初心者向けに無理のない押さえ方を表示します。また、暗い場所でも見やすいバックライト付液晶画面を採用しています。

■ 演奏内容を録音してオリジナル曲が作れます。(ソングメモリー機能) 38 ページ

2パートの演奏内容を本体内に録音して聞くことができます。自動伴奏機能と組み合わせることで、本格的なアンサンブルの曲作りも行えます。また、録音した曲を再生すると、メロディーに合わせて液晶画面の鍵盤部にガイドが表示されます。

■ DTM 用の入力キーボード／音源として利用できます。(GM 対応) 48 ページ

コンピューターを利用したDTM（デスクトップ・ミュージック）を楽しむためのGM（General MIDI）音色を内蔵。DTM用の入力キーボード／音源として利用できます。また市販のGM用ミュージック・データを楽しむ用途にも最適です。

■ 受信した MIDI メッセージでも内蔵曲と同様に楽しめます。50 ページ

市販のGM用データでも、指定チャンネルの演奏情報（鍵盤やペダル情報）が液晶画面に表示されます。また、指定チャンネルの音を消して自分で弾くこともできます。

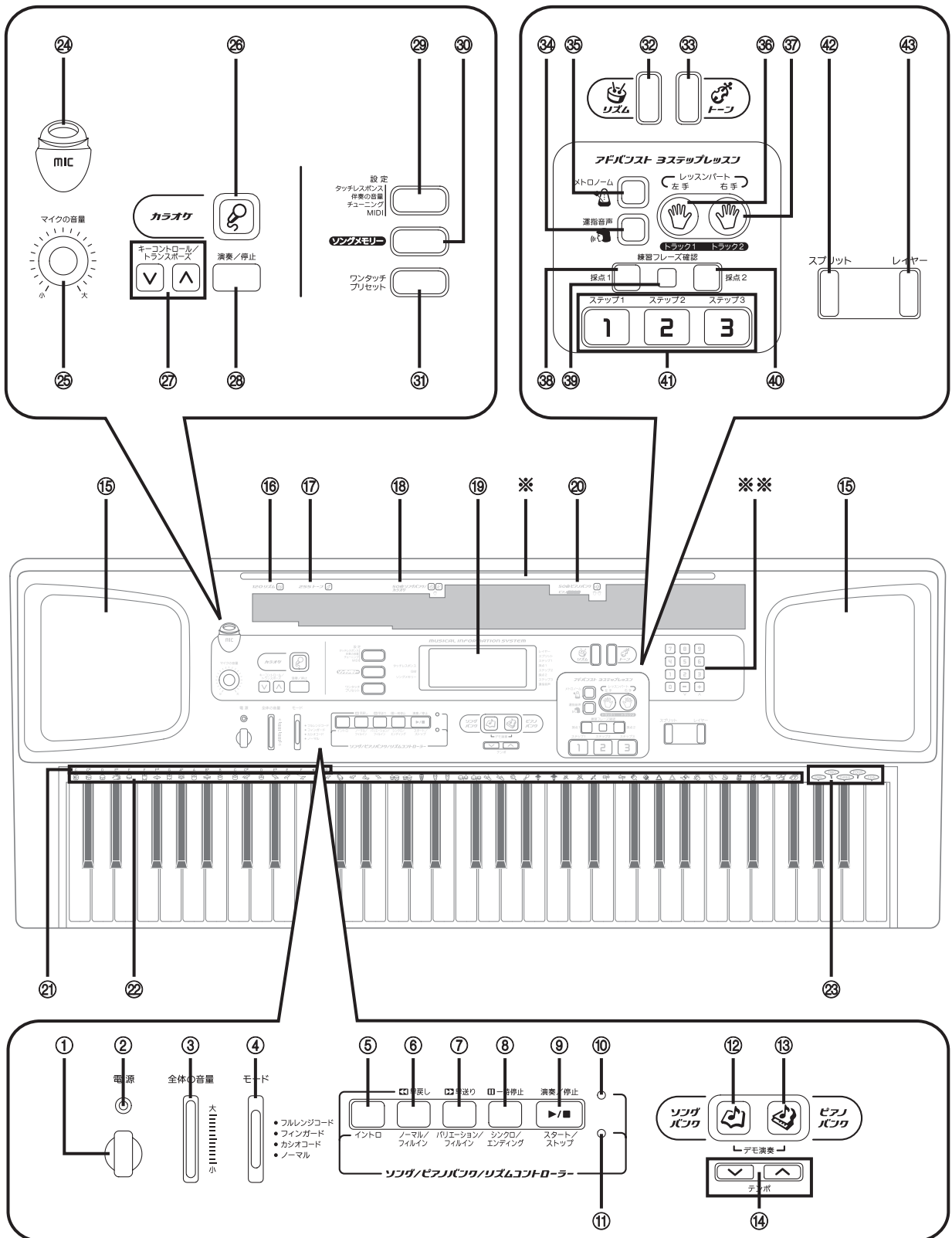
目次

安全上のご注意	表紙裏
主な特長	3
目次	4
各部の名称	6
譜面立ての立て方	7
液晶表示の見方	9
すぐ使いたい方に	10
電源について	11
家庭用100V電源で使うときには	11
電池で使うときには	11
オートパワーオフ機能	12
設定とメモリー内容について	12
接続について	14
ヘッドホン／アウトプット端子について	14
コンピューターとの接続について	14
アサインブル端子について	14
マイク端子について	15
付属品・別売品について	15
基本的な操作をしてみましょう	16
音を出してみましょう	16
音色を選ぶには	16
ピアノの練習をしてみましょう	18
ピアノバンクボタンについて	18

内蔵曲を鳴らしてみましょう	19
ソングバンクの曲を聴いてみましょう	19
ピアノバンクの曲を聴いてみましょう	20
大型液晶表示の見方について	20
曲のテンポを調節するには	21
曲を一時停止するには	21
曲を早戻しするには	21
曲を早送りするには	21
メロディーの音色を変えるには	22
全曲を通して聴くには	22
内蔵曲を練習してみましょう (アドバ ンスト3ステップレッスン)	23
採点機能について	24
練習&採点で曲をマスターしてみましょう ...	24
ステップ1：弾くタイミングを覚えます	25
ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます	26
ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう ...	27
練習フレーズ確認機能について	28
運指音声(しゃべる運指)	28
メトロノームを使うには	29
マイクを使って歌ってみましょう ...	30
自動伴奏を鳴らしてみましょう	32
リズムを選ぶには	32
リズムを鳴らすには	32
テンポを調節するには	33
コード自動伴奏を鳴らすには	33
イントロを入れるには	36

フィルインを入れるには	36	困ったときは	55
同じリズムで演奏パターンを変化させるには	36	資料	57
バリエーションのリズムにフィルインを 入れるには	36	トーンリスト	57
伴奏とリズムを同時にスタートさせるには	37	リズムリスト	60
エンディングを付けて曲を終わらせるには	37	ソングリスト	61
ワンタッチプリセットを使うには	37	音色別発音域表	63
演奏を録音してみましよう	38	ドラム音色リスト	65
トラックについて	38	フィンガードコード一覧表	67
演奏をそのまま録音してみましよう	39	カシオトーン用楽譜集のご紹介	68
録音した演奏を聴いてみましよう	41	ご使用上の注意	68
メロディーの演奏を重ね録音してみましよう ...	41	製品仕様	69
特定のトラックを消去するには	42	保証・アフターサービスについて ...	71
設定を変えてみましよう	44	MIDIインプリメンテーション・チャート ...	巻末
レイヤー機能を利用するには	44		
スプリット機能を利用するには	44		
レイヤーとスプリットを同時に使うには	45		
トランスポーズ機能を利用するには	46		
タッチレスポンス機能を利用するには	46		
伴奏の音量を変えるには	47		
チューニング機能を使うには	47		
MIDIを使ってみましよう	48		
MIDIについて	48		
GMIについて	49		
MIDIの設定を変えるには	49		
本機で送受信可能なメッセージ	53		

各部の名称



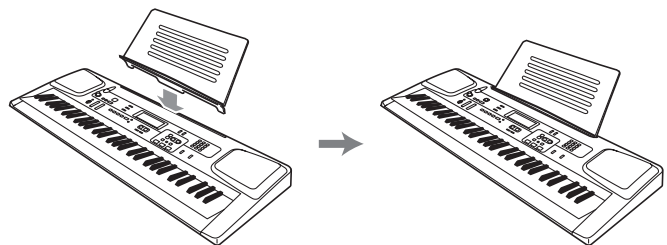
NOTE

- 本機には、演奏/停止ボタンが2つあります。本書、カラオケボタンの下にある方を<演奏/停止>ボタンと表記して区別してあります。

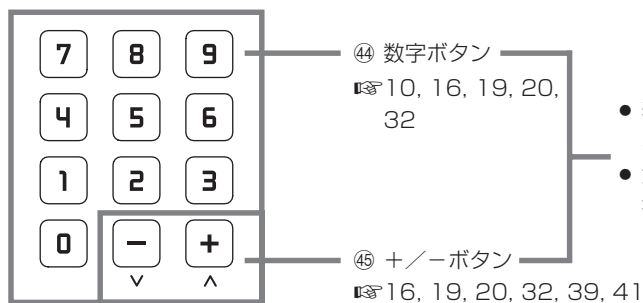
- ① 電源ボタン 10, 16
- ② 電源ランプ 10
- ③ 全体の音量スライダー 16
- ④ モードスイッチ 10, 16, 32, 33
- ソング/ピアノバンク/リズムコントローラー
 - ⑤ イントロボタン 36
 - ⑥ 早戻しボタン 21、
ノーマル/フィルインボタン 36
 - ⑦ 早送りボタン 21、
バリエーション/フィルインボタン 36
 - ⑧ 一時停止ボタン 21、
シンクロ/エンディングボタン 37
 - ⑨ 演奏/停止ボタン 18~20, 25~27、
スタート/ストップボタン 32, 33, 39
 - ⑩ ソング/ピアノバンクコントローラーランプ 8
 - ⑪ リズムコントローラーランプ 8
- ⑫ ソングバンクボタン 10, 19
- ⑬ ピアノバンクボタン 10, 20
- ⑭ テンポボタン 21, 33
- ⑮ スピーカー
- ⑯ リズムリスト 32, 60
- ⑰ トーンリスト 16, 57
- ⑱ ソングバンク/カラオケリスト 10, 19, 61
- ⑲ 液晶表示 9, 20
- ⑳ ピアノバンクリスト 10, 20, 62
- ㉑ 音名
- ㉒ 打楽器イラスト
- ㉓ 連指音声イラスト
- ㉔ マイク端子(MIC) 30
- ㉕ マイクの音量つまみ 30
- ㉖ カラオケボタン 31
- ㉗ キーコントロール/トランスポーズボタン 31, 46
- ㉘ <演奏/停止>ボタン 31
- ㉙ 設定ボタン 46, 47, 49~52
- ㉚ ソングメモリーボタン 38, 39
- ㉛ ワンタッチプリセットボタン 37
- ㉜ リズムボタン 32, 46
- ㉝ トーンボタン 12, 16
- アドバンスト 3ステップレッスン
 - ㉞ 連指音声ボタン 28
 - ㉟ メトロノームボタン 29
 - ㊱ 左手ボタン 25, 26、
トラック1ボタン 38, 39
 - ㊲ 右手ボタン、トラック2ボタン 38, 41
 - ㊳ 採点1ボタン 26
 - ㊴ 練習フレーズ確認ボタン 28
 - ㊵ 採点2ボタン 27
 - ㊶ ステップ1~3ボタン 10, 25~27
 - ㊷ スプリットボタン 45
 - ㊸ レイヤーボタン 44, 45

※譜面立ての立て方

譜面立ては、本体の上面にある溝に差し込んでお使いください。

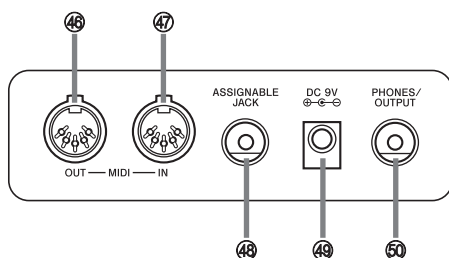


※※



- 表示中の番号や数値を変更するときには押します。
- 負の数は+/-ボタンでのみ指定できます。

【背面図】



- ④⑥ MIDIアウト端子(MIDI OUT) ④④ 48
- ④⑦ MIDIイン端子(MIDI IN) ④④ 48
- ④⑧ アサインابل端子(ASSIGNABLE JACK) ④④ 14
- ④⑨ 電源端子(DC 9V) ④④ 11
- ④⑩ ヘッドホン/アウトプット端子 ④④ 14 (PHONES/OUTPUT)

コントローラランプについて

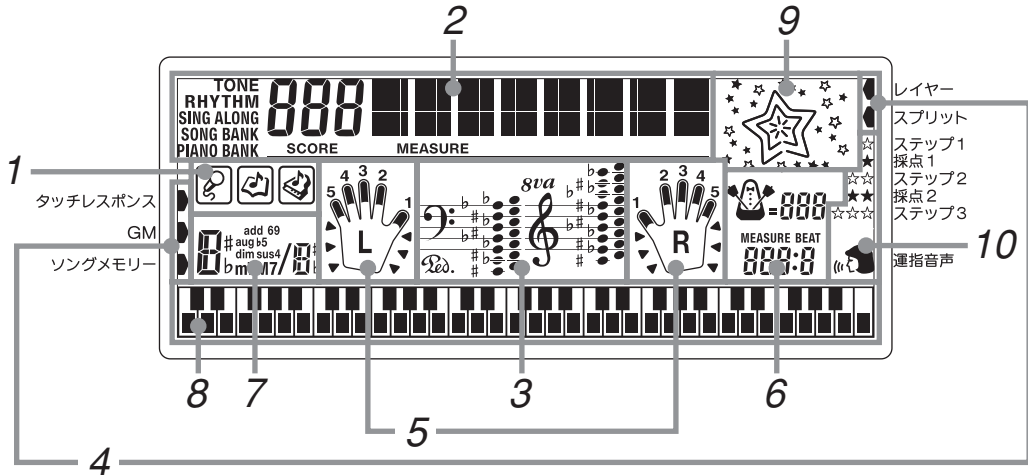
⑩ ソング/ピアノバンクコントローラランプ

ソングバンク、ピアノバンク、カラオケボタンのいずれかを押したり、ソングバンクボタンとピアノバンクボタンを同時に押してデモ演奏をスタートさせると、ソング/ピアノバンクコントローラランプが点灯し、⑤～⑨のボタンが演奏曲をコントロールする機能として働くことを示します。

⑪ リズムコントローラランプ

リズムボタンを押したり、ソングメモリーモードでは、リズムコントローラランプが点灯し、⑤～⑨のボタンがリズムをコントロールする機能として働くことを示します。

液晶表示の見方

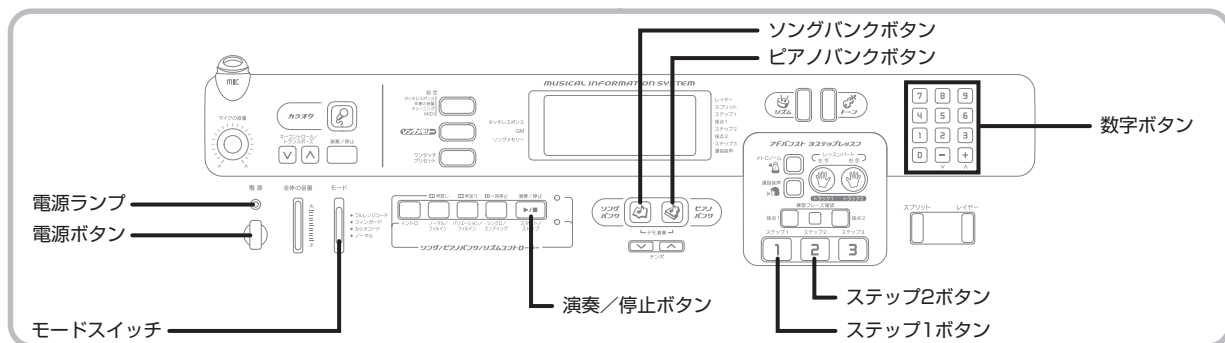


1. カラオケ、ソングバンク、ピアノバンクの各モードを選択すると、対応するアイコンが点灯します。
2. 数字表示：音色の番号やソングの番号、採点機能の得点などの数値を表示します。
文字表示：音色名やソング名を表示したり、採点機能やソングメモリー機能などさまざまな機能の表示に使われます。
インジケータ表示：現在、数字表示や文字表示部に表示中の内容を示します。
<例>ソングバンクの曲が表示されている場合：“SONG BANK”が点灯
3. 弾いた鍵盤の音の高さ、内蔵曲やソングメモリー機能の演奏内容、コードフォーム、MIDIで受信したデータ*1などを五線表示します。
F#6～C7の音の高さの表示は五線譜上に1オクターブ低く音符を表示しオクターブアップマーク（*8va*）*2を表示します。
また、指定のペダルを接続し、ペダルを踏んだときにペダルマーク（*ped.*）を表示します。
※1 表示できる範囲C2～C7より、高い音や低い音を受信したときは、表示されません。
※2 オクターブアップマーク（*8va*）を表示した状態では、C2～B2は表示されません。
4. タッチレスポンス、GMモード、レイヤー、スプリット、ソングメモリー機能の各機能を使用しているとき、それに対応するインジケータが表示されます。
5. 3ステップレッスン、内蔵曲演奏時に鍵盤の押さえ方、押す強さなどを表示します。また、自動演奏しているパートやソングメモリー機能で使用しているトラックを“L”“R”で表示します。
6. リズムや自動伴奏、ソングメモリー機能や内蔵曲、メトロノームを利用するときに小節数、拍数、メトロノーム、テンポ（1分間に演奏される拍数）を表示します。
7. 自動伴奏、ソングバンク、カラオケ演奏時にコードネームが表示されます。
8. 弾いた鍵盤の音の高さ、内蔵曲やソングメモリー機能の演奏内容、コードフォーム、MIDIで受信したデータなどを鍵盤に表示します。また、3ステップレッスン、内蔵曲演奏時には演奏内容を表示します。
9. 採点機能中、各音符毎にタイミングのずれ具合を知らせてくれます。
10. 3ステップレッスンや採点機能、連指音声の各機能を使用しているとき、それに対応するインジケータが点灯します。

NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 液晶表示素子はその特性上、見る角度によってコントラストが変わります。本機ではイスに座ったときの演奏姿勢で見やすくするように初期設定されています。なお、お客様のお好みでコントラストを調整することはできません。

すぐ使いたい方に



本機に内蔵の100曲の自動演奏曲を、液晶画面に表示される鍵盤ガイドに従って弾きながら、3つのステップでマスターできます。ここではステップ1、2を使って演奏してみましょう。

6 メロディーを弾いてみましょう。

- 液晶表示に押さえるべき鍵盤、指使い、音の高さが表示されます。



- 操作5でステップ1を押したとき
- 鍵盤を押してください。
- メロディーを弾く速さに合わせて、伴奏(または左手パート)がついていきます。
- 画面上で点灯していない鍵盤を押してもメロディーが鳴ります。
- 操作5でステップ2を押したとき
- 画面上で点灯している鍵盤を押してください。
- 点灯している間、鍵盤を押さえます。(ピアノバンクの曲を選んだときは、鍵盤を押すと同時に点灯が消えます。)
- 次に押さえる鍵盤が画面上で点滅します。
- 正しい鍵盤を押さえて弾くと、伴奏(または左手パート)がついてきます。

7 レッソンを途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。

ピアノ曲を弾きたいときには

- 1 上記手順の操作3で、ピアノバンクボタンを押します。
 - ピアノバンクボタンが点灯します。
 - 画面上に“PIANO BANK”とアイコンが点灯します。
- 2 ピアノバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで曲の番号(2桁)を押します。
 - ピアノバンクリストは、巻末にも記載されています(62ページ)。
- 3 引き続き、操作5以降を行います。

1 電源ボタンを押して電源をオンにします。

- 電源ランプが点灯します。

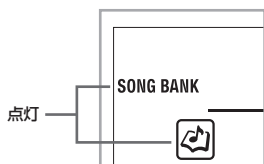


2 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。



3 ソングバンクボタンを押します。

- ソングバンクボタンが点灯します。



4 ソングバンク/カラオケリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号(2桁)を押します。

- ソングバンク/カラオケリストは、巻末にも記載されています(61ページ)。

例：“42アロハ・オエ(ALOHA OE)”の場合は、“4→2”の順番に押します。



5 ステップ1ボタンまたはステップ2ボタンを押します。

- カウントが鳴り待機状態になります。初めに押さえるべき鍵盤が画面上で点滅します。

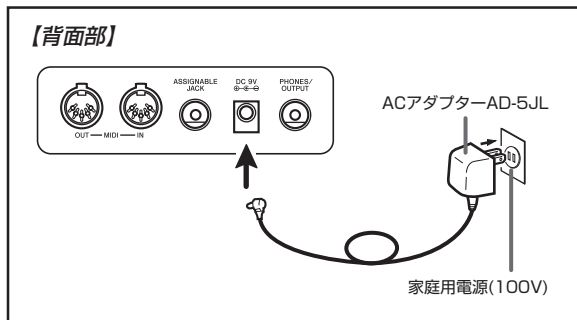
電源について

本機は家庭用 100V 電源、電池が使える 2 電源方式です。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

家庭用 100V 電源で使うときには

本機指定の AC アダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式 : AD-5JL



なお、AC アダプターをご使用になるときは、以下の点にご注意ください。

⚠ 警告

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機指定の AC アダプターを使用する **!**
- 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用する **!**
- 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしな **!**
- 重いものを乗せたり、加熱しな **!**
- 加工したり、無理に曲げない **!**
- ねじったり、引っ張ったりしな **!**
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する **!**
- 濡れた手で AC アダプターに触れない **!**

⚠ 注意

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

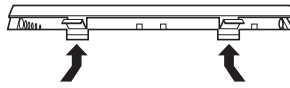
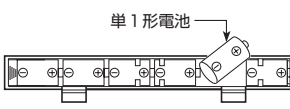
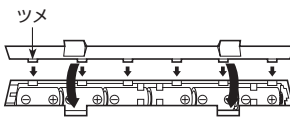
- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない **!**
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない (必ず AC アダプター本体を持って抜く) **!**
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む **!**
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く **!**
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまるように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する **!**

重要

- AC アダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- AC アダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

電池で使うときには

電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

- 1 本機底面部の電池ケースのフタをはずします。
- 2 単 1 形電池 6 本を入れます。
 - ⊕ ⊖ の向きに注意してください。
- 3 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

NOTE

- 電源を入れたまま電池を交換すると、正常に機能しない場合があります。この場合、一度電源を切ってから再び電源を入れ直してください。

電池について

● 電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。

- マンガン電池使用時……約 6 時間※

※ 常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

● 下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。
- マイクの音量が小さくなった。
- マイクの音質が劣化した。
- マイクを使うと電源ランプが暗くなる。
- マイクを使うと電源が切れる。
- MIDI を接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音量が小さくなる。

⚠ 警告

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性 (⊕ と ⊖ の向き) に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

オートパワーオフ機能

オートパワーオフ機能について

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。

無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約 6 分で自動的に電源が切れます。

この場合、電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

NOTE

- アダプターを使用しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

オートパワーオフ機能をキャンセルするには

トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- このときは、放置しておいても電源が切れたりすることはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- 電源を入れ直すとオートパワーオフ機能が働くようになります。

設定とメモリー内容について

設定の保持

本機では、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の動きで電源が切れた後も、選んだ音色やリズムの種類など演奏のための主な設定*が記憶されており、次に電源を入れたときに同じ設定になります。

※演奏のための主な設定

レイヤー、スプリット、スプリットポイント、タッチレスポンス、リズム番号、リズムのテンポ、伴奏の音量、レイヤー音色、スプリット音色、レイヤースプリット音色、GM モード オン/オフ、ア坎ブ MIDI アウト オン/オフ、アサインブル端子の設定、キーボードチャンネル、運動音声オン/オフ



ソングメモリー内容の保持

ソングメモリー機能を使って本機に記憶させた内容も、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の働きで電源が切れた後も保たれます。

電源の役割

上記の設定やソングメモリーは、本機への電源供給が続いている限り保たれます。電池を入れずにACアダプターを抜いたり、電池作動中に電池が消耗した場合など、本機への電源供給が絶たれると、各設定は初期状態に戻り、記憶内容は消去されます。

設定や記憶内容を保つためには

本機への電源供給が途切れると、各設定は初期状態に戻り、記憶内容は消去されます。設定や記憶内容を保つためには、下記の事項を守ってください。

- 電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない電池を入れておいてください。

なお、上記の操作は電源ボタンで電源を切ってから行ってください。

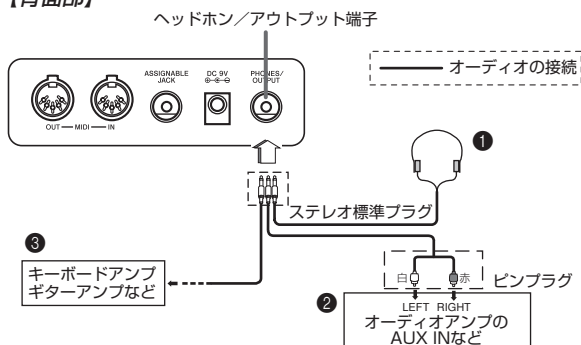
接続について

ヘッドホン／アウトプット端子について

準備

- 接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】



●ヘッドホンをつなぐには（図①）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

●オーディオ機器と接続するには（図②）

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオ標準プラグのものをご利用ください。（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）通常はオーディオ機器側のインプットセレクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

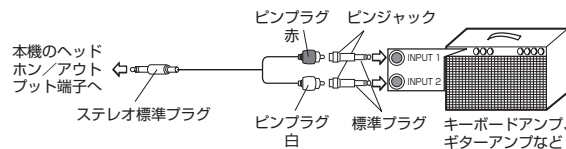
●楽器用アンプと接続するには（図③）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード*を使用します。

※本機につなぐ側：ステレオ標準プラグのもの
アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする。
（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

【接続例】

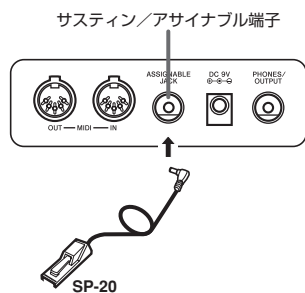


コンピューターとの接続について

コンピューター（ソフトウェアシーケンサー）やシーケンサー（ハードウェアシーケンサー）に接続して使用することもできます（48ページ「MIDIを使ってみましょう」参照）。

アサインブル端子について

アサインブル端子にサスティンペダル（SP-2 または SP-20）を接続すると、下記のような使い方ができます。それぞれの設定方法については、「アサインブル端子の設定」（52ページ）をご参照ください。



●サスティンペダルとして使うと

- ピアノなど減衰音では…ピアノのダンパーペダル同様、鍵盤で弾いた音に余韻の残る効果。
- オルガン系の持続音では…ペダルを踏んでいる間、鍵盤で弾いた音が鳴り続ける「ホールド効果」。

●ソステヌートペダルとして使うと

- サスティンペダルと同様の効果が、鍵盤で弾いた音にかかります。
- サスティンペダルとの違いは効果をかけるタイミングにあります。
- 鍵盤を押してから、その鍵盤を離す前にペダルを踏めば、その音に対してのみ効果がかかります。



- **ソフトペダルとして使うと**

鍵盤で弾いた音の音色が小さくなります。

- **リズムのスタート/ストップとして使うと**

ペダル操作で、リズムのスタート/ストップボタンと同じ働きをします。

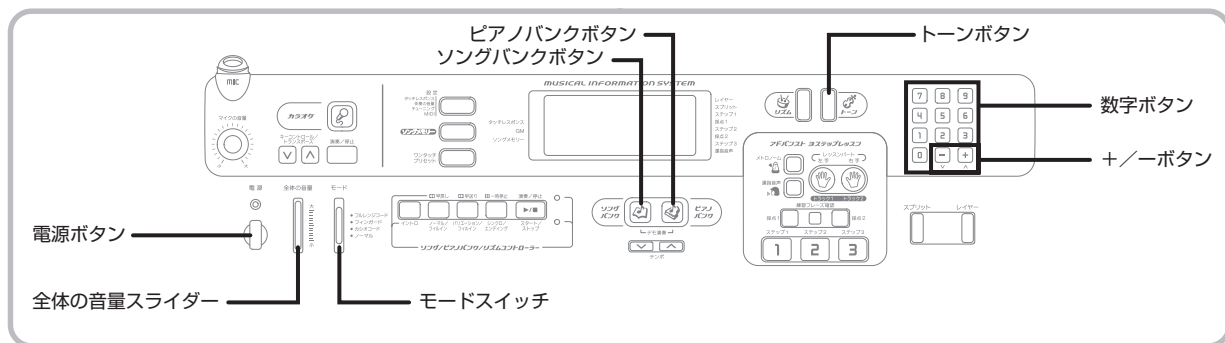
マイク端子について

マイク端子への接続については、30ページの「マイクを使って歌ってみましょう」を参照してください。

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

基本的な操作をしてみましょう



ここでは本機の基本操作について説明します。

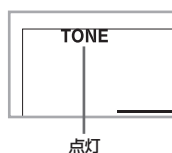
音を出してみましょう

- ① 電源ボタンを押します。
- ② モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- ③ 全体の音量スライダーを調節します(弾く前は小さめにしておきましょう)。
- ④ 鍵盤を弾いてみましょう。
 - 電源を入れた直後は、ソングバンクモードになります。鍵盤の音色は、ソングバンク 00 番の曲で使われている音色 (“096 フルーツ 1”) になります。

音色を選ぶには

本機には 255 種類の音色が内蔵されています。ここで、どんな音色が入っているのかを試してみましょう。

- ① トーンリストから鳴らしたい音色を選び、その番号を確認します。
 - 本体上のトーンリストでは、音色名が省略されています。巻末の「トーンリスト」(57ページ)に全音色が記載されています。
- ② トーンボタンを押します。



- ソングバンクボタン、ピアノバンクボタン、カラオケボタンのいずれかが点滅することがありますが、かまわず、手順③に進んでください。

- ③ 数字ボタンを使って、音色の番号を数字(3桁)で入力します。

例：“049 アコースティックベース (ACOUSTIC BASS)”
なら、“0→4→9”と入力します。



- 本機がソングバンクモード、ピアノバンクモード、カラオケモードのいずれかになっているときにトーンボタンを押すと、そのモードのボタンが点滅して、元になっていた画面を示します。点滅しているボタンを押せば、点滅は止まり、元になっていた画面に戻ります。

NOTE

- 音色は、必ず3桁で指定してください
(例：032 = 0→3→2)。
1桁目または2桁目の入力後、何も入力しないと、数秒後に元の音色番号表示に戻ります。
- 音色表示中に+/-ボタンで音色番号を1つずつ切り替えて呼び出すこともできます。
- 音色番号246～254のドラムセットは、鍵盤ごと異なる打楽器が割り当てられています。(鍵盤上の打楽器イラストおよび65ページ参照)



同時発音数について

本機は、同時に最大24音まで発音します。ただし、一部の音色では2種類の音色を組み合わせているため最大12音になるものもあります。

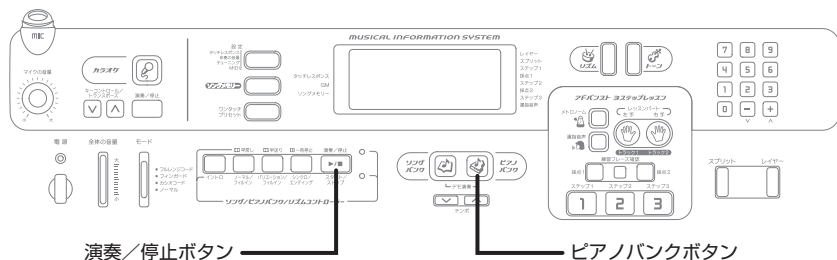
- リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

デジタルサンプリングの音色について

本機で鳴らすことのできる音色のいくつかは、「デジタルサンプリング」という電子技術により、生の楽器の音を録音・加工したものです。こうした音色の中には、元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げたものがあります。

一部の音色で、鍵盤によって音質や音量が若干異なる箇所がありますが、これは上記のようなサンプリング処理における音域の境目（スプリットポイント）で、故障ではありません。

ピアノの練習をしてみましょう



ピアノバンクボタンについて

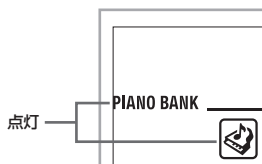
ピアノバンクボタンを押すと、ワンタッチでピアノ音色とピアノ曲が選択されます。

<設定内容>

音色："000 ステレオピアノ"

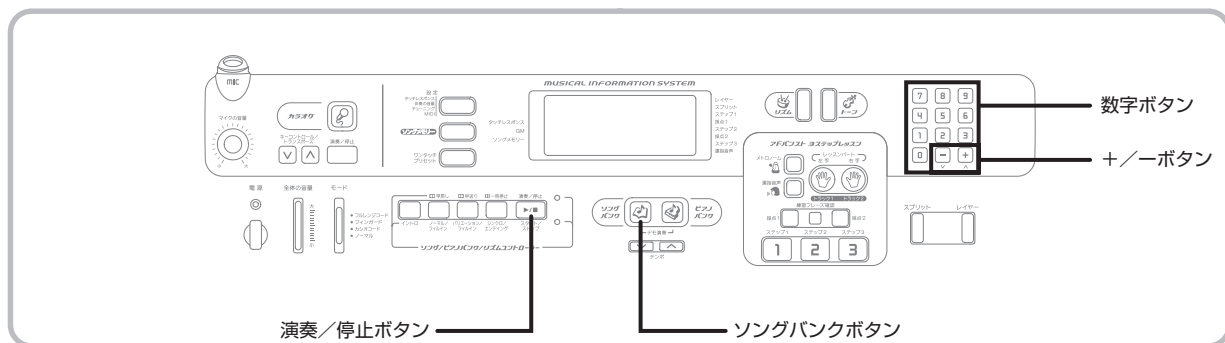
操作手順

- 1 ピアノバンクボタンを押します。
 - ピアノバンクボタンが点灯します。



- 2 鍵盤を弾いてみましょう。
 - ピアノの音色で演奏できます。
- 3 曲の演奏を聴きたい場合には、演奏/停止ボタンを押します。
 - 同じ曲が繰り返し演奏されます。
 - 演奏を止めるには、もう一度演奏/停止ボタンを押します。

内蔵曲を鳴らしてみましょ



本機は100種類の自動演奏曲を内蔵しています。その中からお好きな曲を選んで、聴いたり、練習したり、歌ったりできます。内蔵曲は、次のように2つのグループにわかれています。

- **ソングバンク/カラオケグループ**：片手曲/50曲
自動伴奏曲です。レッスン機能では、メロディー部分を練習することができます。マイクを接続してカラオケモードにしたときは、ボーカル曲*として歌うことができます。
※ソングバンクモード時にくらべて、メロディー・パートの音量が小さくなり、音色が歌のガイドとして聴きやすい音色に変更されます。
- **ピアノバンクグループ**：両手曲/50曲
ピアノ曲です。練習曲集(20曲)と名曲集(30曲)にわかれています。レッスン機能では、右手・左手パートの両方を練習できます。

ソングバンクの曲を聴いてみましょう

準備

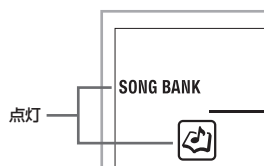
- 全体の音量(16ページ)を調節します。

1 ソングバンク/カラオケリストから曲を選び、その番号を確認します。

- ソングバンク/カラオケリストは、巻末にも記載されています(61ページ)。

2 ソングバンクボタンを押してソングバンクモードにします。

- ソングバンクボタンが点灯します。



3 数字ボタンで、曲の番号(2桁)を入力します。

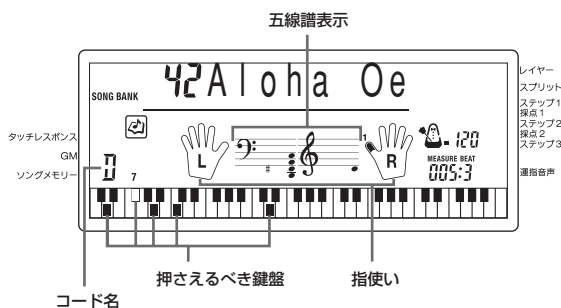
例：“42 アロハ・オエ (ALOHA OE)” なら“4→2”と入力します。



NOTE

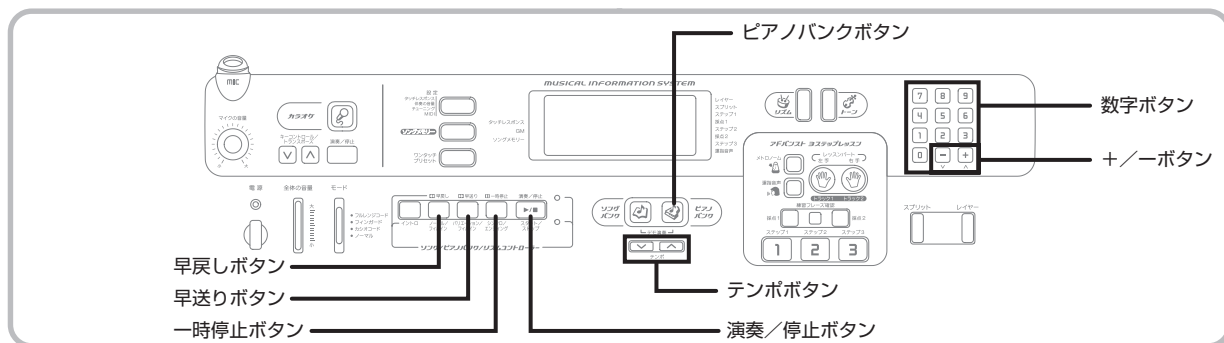
- 電源を入れたときは00番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、+/-ボタンでも指定できます。

4 演奏/停止ボタンを押すと自動演奏が始まります。



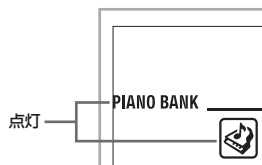
5 演奏/停止ボタンを押すと自動演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。



ピアノバンクの曲を聴いてみましょう

- 1 ピアノバンクリストから曲を選び、その番号を確認します。
 - ピアノバンクリストは、巻末にも記載されています (62ページ)。
- 2 ピアノバンクボタンを押して、ピアノバンクモードにします。
 - ピアノバンクボタンが点灯します。



NOTE

- ピアノバンクボタンを押すとメイン音色がステレオピアノ (音色番号 000) になります。

- 3 数字ボタンで、曲の番号 (2桁) を入力します。
例: "16 喜びの歌 (ODE TO JOY)" なら、"1→6" と入力します。



NOTE

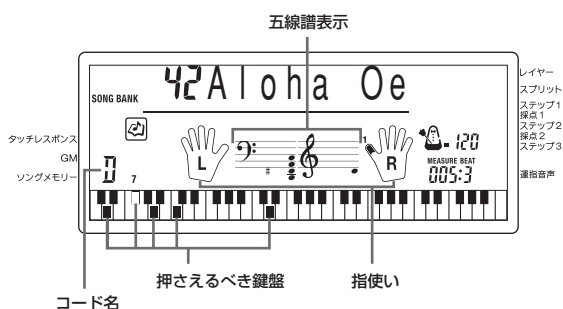
- 電源を入れたときは 00 番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、+/-ボタンでも指定できます。

- 4 演奏/停止ボタンを押すと、演奏が始まります。
- 5 演奏/停止ボタンを押すと演奏が止まります。
 - 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

大型液晶表示の見方について

内蔵曲の再生時に、曲に合わせて各表示が点灯します。

(例) ソングバンクの再生時



NOTE

- ピアノバンク曲の再生時は、コード名が表示されません。

曲のテンポを調節するには

曲を選んだ直後には、その曲のおすすめのテンポが設定されています。曲の演奏中、テンポの値（1 分間に演奏される 4 分音符の数）は 40 ～ 255 の範囲で自由に調節できます。

1 テンポボタンを押します。

- ▲…数値が増える（テンポが速くなる）
- ▼…数値が減る（テンポが遅くなる）
- テンポ：1 分間に演奏される 4 分音符の数です。



NOTE

- テンポ値の点滅中は、数字ボタン*、+/- ボタンでも調節できます。
※“090”のように3桁で入力します。
- テンポボタンの▲/▼ボタンを同時に押すと、現在選ばれている曲のおすすめのテンポに戻ります。
- ピアノバンクの曲をおすすめのテンポで演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。テンポを調節すると、一定のテンポで演奏します。

曲を一時停止するには

曲の演奏中に一時停止ボタンを押すと、演奏が一時的に停止します。もう一度ボタンを押すと、止めた位置から演奏を再開できます。

1 曲の演奏中に一時停止ボタンを押します。

- 曲の演奏が止まります。

2 もう一度、一時停止ボタンを押すと、曲が止まった位置から演奏を再開します。

曲を早戻しするには

現在演奏している位置から前の方向へ 1 小節単位で移動します。

1 曲の演奏中（または一時停止中）に早戻しボタンを押し続けます。

- 1 小節単位で早戻しを始めます。
- 早戻し中の小節数と拍数を表示します。



2 早戻しボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

- 演奏/停止ボタンで曲を止めた場合は、早戻しの操作が行えません。
- 再生処理の都合上、早戻しボタンを押してから早戻しが始まるまでに、時間のかかることがあります。

曲を早送りするには

現在演奏している位置から後の方向へ 1 小節単位で移動します。

1 曲の演奏中（または一時停止中）に早送りボタンを押し続けます。

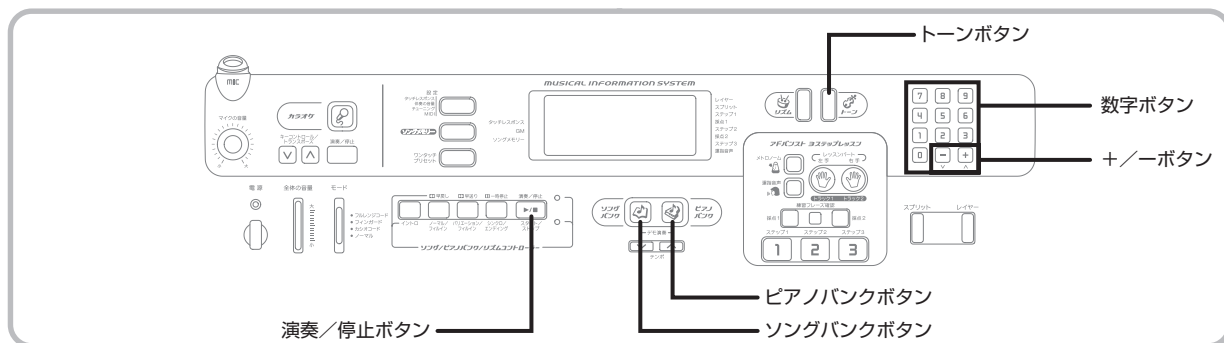
- 1 小節単位で早送りを始めます。
- 早送り中の小節数と拍数を表示します。



2 早送りボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

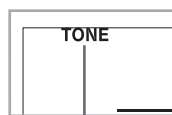
- 演奏/停止ボタンで曲を止めた場合は、早送りの操作が行えません。



メロディーの音色を変えるには

本機には 255 種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。音色の変更は、曲の演奏中でも、一時停止中でも行えます。

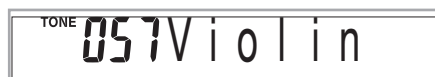
1 トーンボタンを押します。



点灯

2 トーンリストから音色を選び、数字ボタンで音色番号を入力します。

例：“057 バイオリン (VIOLIN)” なら、0→5→7 と入力します。



NOTE

- +/- ボタンでも音色を切り替えられます。
- ピアノバンクの曲 (両手演奏の曲) については、左右のパートとも同じ音色が割り当てられます。
- 同じ曲をもう一度選び直すと、あらかじめその曲に設定されている音色に戻ります。

全曲を通して聴くには

100 種類の内蔵曲を、すべて通して聴くことができます。

1 ソングバンクボタンとピアノバンクボタンを同時に押します。

- ソングバンクの 00 番の曲からピアノバンク曲の順に、すべての曲を通して自動演奏します。
- デモ演奏中は、ソングバンクボタンとピアノバンクボタンの両方が点灯します。

2 演奏/停止ボタンを押して、自動演奏を停止します。

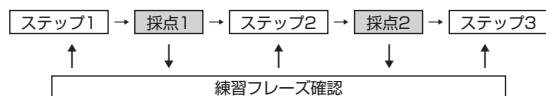
NOTE

- 全曲を通して聴いているとき、数字ボタンまたは +/- ボタンを押すと好きな曲を選んで聴けます。
- 全曲を通して聴いているとき、演奏中の曲のメロディーで使用されている音色で鍵盤演奏が楽しめます。

内蔵曲を練習してみましょう(アドバンスト3ステップレッスン)

本機のアドバンスト3ステップレッスンを使って、内蔵曲を練習し、できばえを採点することができます。3ステップレッスン機能では、自分のペースで気軽に練習できます。採点機能では、練習のできばえを確認しながら、ステップアップすることができます。採点后、一番良くなかったところを確認して再度練習してみましょう(練習フレーズ確認機能)。

<レッスンの流れ>



3ステップレッスン機能について

3ステップレッスンは、内蔵曲を3つのステップに分けて練習していくための機能です。鍵盤1つでメロディーを演奏する簡単なステップ1から始まり、鍵盤の位置や指使いを覚えるステップ2を経て、最後のステップ3で普通の速さで曲が弾けるようになるまで、上達の進度に合わせてレッスンが行えます。

3ステップレッスンの内容は次のようになります。

ステップ1：弾くタイミングを覚えませ

鍵盤を弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここでは、液晶画面の鍵盤ガイドのタイミングに合わせて鍵盤のいずれか1つを続けて押すだけで演奏でき、伴奏(または左手パート)は次の鍵盤を弾くまで待ってくれます。音の高さは気にせず、鍵盤を弾くタイミングだけ覚えましょう。

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えませ

音を正確に鍵盤で弾くレッスンです。どの指で弾くのか(指使い)を液晶表示で確認しながら、液晶画面の鍵盤ガイドが示す通りに弾いてみましょう。伴奏(または左手パート)は音を正確に弾けるまで待ってくれますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう

ステップ2で練習した曲を普通の速さで弾くレッスンです。押さえるべき鍵盤が液晶画面の鍵盤ガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

曲の種類と練習できるパート

内蔵曲には、自動伴奏の曲(ソングバンク)と両手演奏の曲(ピアノバンク)の2種類があります。選んだ曲の種類によって、3ステップレッスンで練習できるパートが異なります。

自動伴奏の曲(ソングバンク)

自動伴奏の曲は、自動伴奏パートとメロディーパートからなります。3ステップレッスンでは、メロディーパート(右手パート)のみを練習することができます。

両手演奏の曲(ピアノバンク)

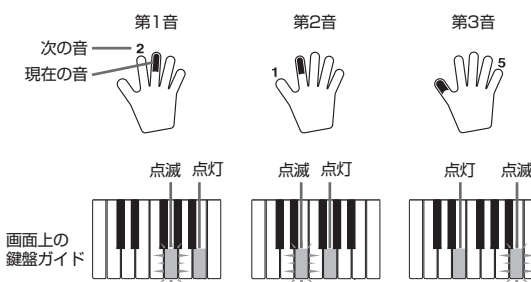
3ステップレッスンでは、右手・左手パートの両方を練習することができます。

3ステップレッスンでの液晶表示について

3ステップレッスンで自動伴奏の曲を選んでいるとき、液晶表示鍵盤部分と五線譜部分で、音の高さ、音の長さが表示されます。同時にその音符を弾くための指使いを液晶表示で確認できます。それぞれの見方は次の通りです。

- 音の高さ …… 画面上で現在点灯している鍵盤が押さえるべき鍵盤です。音の高さは五線譜の表示でも確認できます。指使いの液晶表示は押さえる指の位置が点灯します。
- 音の長さ …… 画面上の鍵盤が点灯してから消灯するまでの時間が、その音の長さになります。五線譜や指使いの表示も同じ間だけ点灯します。
- 次の音 …… 画面上の点滅している鍵盤が、次に押さえるべき鍵盤です。指使いの表示は次に押さえる指の番号が点灯します。
- 同じ音の高さが連続する場合 …… 画面上の鍵盤が前の音の音符の長さだけ点灯した後、一瞬消灯して再び点灯します。五線譜や指使いの表示も同様に点灯します。

例：3、2、1の指の順で弾いた場合



NOTE

- 両手演奏の曲 (ピアノバンク) のステップ1と2では、音の長さのガイドは行いません。点灯した鍵盤を押さえると同時に消灯し、次に押さえるべき鍵盤が点滅します。
- 両手演奏の曲のステップ3では音の長さも鍵盤ガイドで示されます。この場合、点灯している鍵盤が押さえる鍵盤で、次に押さえる鍵盤は点滅しません。
- ステップ3では次の音の指番号は表示しません。現在の音の指番号を表示します。

3 ステップレッスンのテンポ設定について

3ステップレッスンのテンポは、「曲のテンポを調節するには」(21 ページ)の方法で変更することができます。

採点機能について

3ステップレッスンのステップ1、2で練習した成果を100点満点で採点してくれる機能です。採点モードで演奏中も、画面上や音声で演奏の評価を確認できます。

採点モード中の画面表示について

レベルインジケータ (9段階) : 現在の演奏評価が一目でわかります。インジケータの点灯が多いほど、得点が高いことを表します。

例 : 50 点の場合

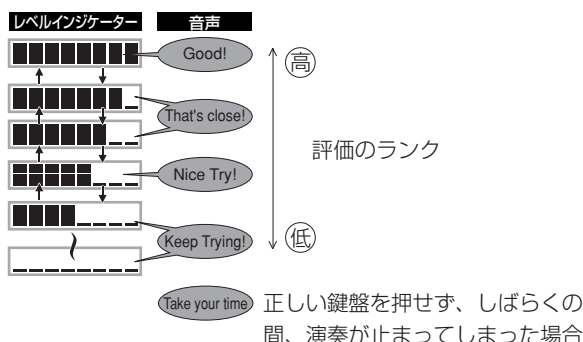


星マーク : 採点モード中、各音符ごとにタイミングのずれ具合を知らせてくれます。星マークの点灯が少ないほど、タイミングがずれていることを表します。



音や声のガイドについて

鍵盤を押すタイミングがずれると、演奏している音色が違う音色に変わり、タイミングが悪かったことを知らせてくれます。また採点モード中、現在の演奏に対する評価のランクを音声でも知らせてくれます。ランクが上下しそうな場合にも、効果音で知らせてくれます。



採点結果について

曲の始めから最後まで演奏を採点し、総合得点と評価ランクを画面に表示します。得点が高い場合には、効果音が鳴ります。

<評価ランクの表示と効果音>

画面表示	効果音
"Bravo!"	拍手と歓声
"Great"	拍手
"Not bad!"	無し
"Again!"	無し

評価のランク

高

低

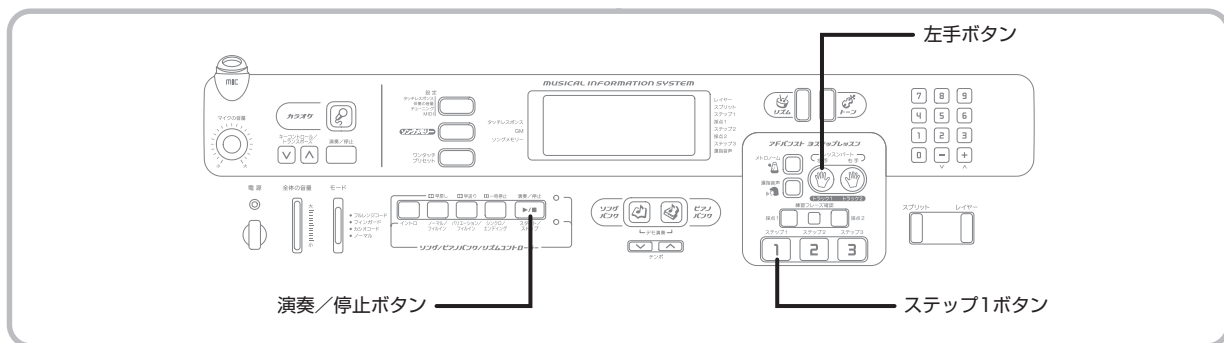
- "****" 採点を途中で止めた場合に表示されます

NOTE

- 満点の場合は、採点結果の表示前に "Perfect!" と表示されます。
- 採点モード中に演奏/停止ボタンを押して演奏を中断した場合は、その時点の得点だけが表示されます。評価ランクの表示や効果音はありません。

練習&採点で曲をマスターしてみよう

3ステップレッスン機能と採点機能を交互に利用して、曲をマスターしてみましょう。



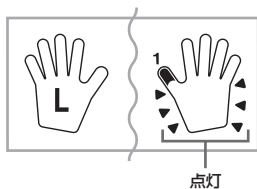
ステップ1:弾くタイミングを覚えれます

鍵盤を弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここではガイドの点灯する鍵盤にタイミングを合わせて、鍵盤のいずれか1つを続けて押すだけで演奏できます。押しまちがいを気にせず、鍵盤を弾くタイミングだけ覚えましょう。

- ① レッスンする曲を選びます。
- ② ステップ1ボタンを押して、ステップ1のレッスンを開始します。
 - カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き) 1音目の待機状態になります。



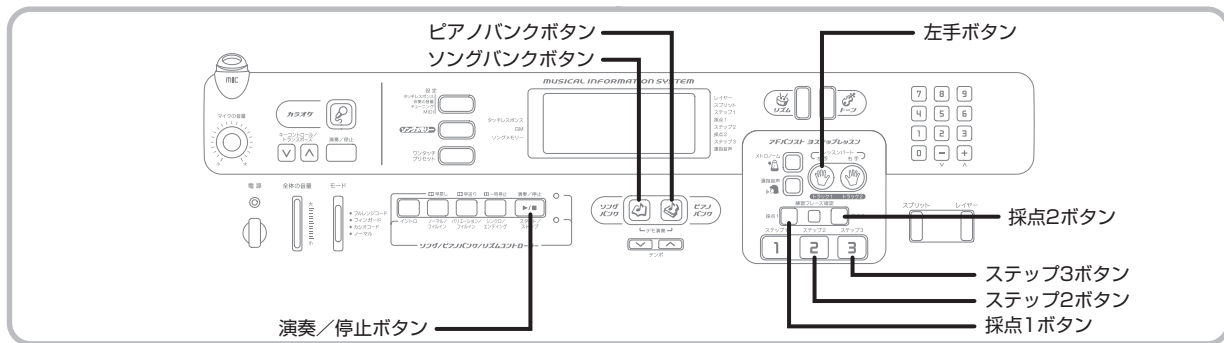
- レッスンをするパートの手の印の周りにはドットが点灯します。



- ③ 鍵盤のいずれか1つを続けて押して、演奏してみましょう。
 - カウント中および前奏中は、液晶画面に初めに押さえる鍵盤が点滅します(演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します)。弾くタイミングになると、鍵盤のガイドは点滅から点灯に変わります。
 - 伴奏(または左手パート)は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。
 - 誤って複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけ音が進行しますのでご注意ください。ただし、複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、1つしか音は進みません。
- ④ レッスンを途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。

NOTE

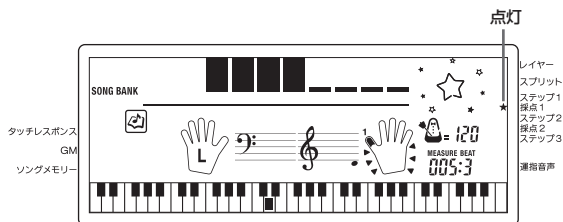
- ピアノバンクの曲に限り、左手パートのレッスンも同様に行えます。この場合、操作1で両手演奏曲を選んだあと、操作2の後で左手ボタンを押してください。
- 3ステップレッスンでは、右手パートと左手パートの両方を同時にレッスンすることはできません。
- ステップ1では、早送り、早戻しの操作が行なえません。
- ステップ1では一時停止の操作はできません。
- ステップ1ではリズムは鳴りません。



採点1：ステップ1での練習成果の確認

ステップ1で練習した成果を、採点機能を使って確認してみましょう。

- 1 採点1ボタンを押します。
 - 画面上の採点1インジケータが点灯します。
 - カウントの後、採点モードになります。



- 2 画面表示や音声を目安にして、演奏してみましょう。

●採点を途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。そこまでの演奏に対する得点のみ、画面表示されます（評価ランクは「****」が表示されます）。

- 3 演奏が終了すると、採点結果を表示します。

- 評価ランクの表示と効果音については、24ページの「採点結果について」を参照してください。
- 最も苦手な箇所（点数の低い箇所）を重点的に練習することができます。28ページの「練習フレーズ確認機能について」を参照してください。
- ソングバンクボタンまたはピアノバンクボタンを押すと、曲の選択画面に戻ります。



ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます

音を正しく鍵盤で弾くレッスンです。指使い（運指）を液晶表示で確認しながら、ガイドが示す通りに弾いてみましょう。伴奏（または左手パート）はメロディー（または右手パート）を正確に弾くまで待っていただけますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

- 1 レッスンする曲を選びます。
- 2 ステップ2ボタンを押して、ステップ2のレッスンを開始します。
 - カウントの後、（前奏のある曲は前奏に続き）1音目の待機状態になります。



- 3 画面の鍵盤表示に合わせて演奏してみましょう。
 - カウント中および前奏中は初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、鍵盤のガイドは点滅から点灯に変わります。
 - 両手演奏曲で複数の鍵盤が点灯しているときは、それらの鍵盤をすべて押さえたときに曲が進行します。
- 4 レッスを途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。

NOTE

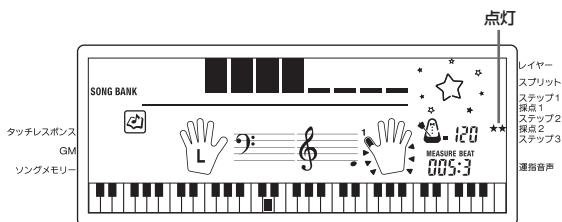
- ピアノバンクの曲に限り左手パートのレッスンができます。この場合、操作1で両手演奏曲を選んだあと、操作2の後で左手ボタンを押してください。
- 3ステップレッスンでは、右手パートと左手パートを両方同時にレッスンすることはできません。
- ステップ2では、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップ2では一時停止の操作はできません。
- ステップ2ではリズムは鳴りません。

採点2：ステップ2での練習成果の確認

ステップ2で練習した成果を、採点機能を使って確認してみましょう。

1 採点2ボタンを押します。

- 画面上の採点2インジケータが点灯します。
- カウントの後、採点モードになります。



2 画面表示や音声を目安にして、演奏しましょう。

- 採点を途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。そこまでの演奏に対する得点のみ、画面表示されます（評価ランクは“****”が表示されます）。

3 演奏が終了すると、採点結果を表示します。

- 評価ランクの表示と効果音については、24ページの「採点結果について」を参照してください。
- 最も苦手な箇所（点数の低い箇所）を重点的に練習することができます。28ページの「練習フレーズ確認機能について」を参照してください。
- ソングバンクボタンまたはピアノバンクボタンを押すと、曲の選択画面に戻ります。

ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう

ステップ2で練習した曲を普通の速さで弾くレッスンです。押さえる鍵盤はガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

- 1 レッスンする曲を選びます。
- 2 ステップ3ボタンを押して、ステップ3のレッスンを開始します。

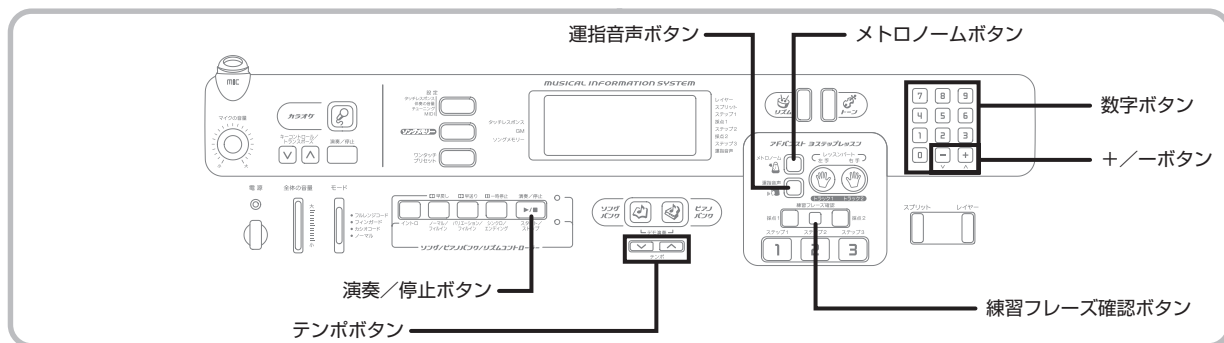
- 伴奏（左手パート）が普通の速さで演奏されます。



- 3 ガイドに合わせて演奏してみましょう。
- 4 レッスを途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。

NOTE

- ピアノバンクの曲に限り左手パートのレッスンができます。この場合、操作1で両手演奏曲を選んだあと、操作2の後で左手ボタンを押してください。
- 3ステップレッスンでは、右手パートと左手パートを両方同時にレッスンすることはできません。
- ステップ3では、一時停止、早送り、早戻しの操作が行えます。



練習フレーズ確認機能について

採点機能で最も点数の低かった箇所を重点的に練習することができます。

- 1 採点結果が表示された後、練習フレーズ確認ボタンを押します。



- 練習フレーズ確認モードになり、採点結果から一番点数の低かった得点とその小節番号（開始小節番号～終了小節番号）が画面に表示されます（練習フレーズ）。

NOTE

- 最低得点の箇所が複数ある場合には、曲の頭に近い方を表示します。
- 弱点結果が無い場合は、「****-****」と表示されます。
- 弱点箇所の情報は、曲を変更したり、他のモードに変更すると消去されます。

練習フレーズを再生するには

- 1 練習フレーズが画面に表示されているときに、演奏/停止ボタンを押します。
 - フレーズの開始小節から曲が再生されます。
 - 曲の終わりまで再生されると自動的に曲頭から再生を始めます。フレーズだけの繰り返し再生はされません。

NOTE

- 曲によってはフレーズの頭出しに数秒かかる場合があります。

練習フレーズを練習するには

- 1 練習フレーズが画面に表示されているときに、ステップ1～3ボタンを押します。
 - フレーズの開始小節から、押したボタンに応じたステップで練習できます。
- 2 鍵盤を弾いてみましょう。
 - ステップ練習はその小節から最後までいったら、また曲の頭に戻って、繰り返しそのステップの練習ができます。
 - ステップ練習を止めるには、演奏/停止ボタンを押します。

運指音声（しゃべる運指）

指番号を音声でガイドします。ステップ1あるいは2をレッスン中で、片手パートのみを選択しているとき、弾くべき鍵盤の指番号を喋っていきます。たとえば、親指なら「One（ワン）」と、親指・中指・小指なら「One（ワン）」「Three（スリー）」「Five（ファイブ）」と順にしゃべってガイドする機能です。

運指音声は、弾くべきタイミングになっても鍵盤が押されなかった場合にだけガイドされます。

<運指音声ガイド>

- One（ワン）：指番号1 / 親指
- Two（ツー）：指番号2 / 人さし指
- Three（スリー）：指番号3 / 中指
- Four（フォー）：指番号4 / 薬指
- Five（ファイブ）：指番号5 / 小指

運指音声をオン/オフするには

運指音声ボタンを押して、運指音声のオン/オフを切り替えます。

- 画面上に運指音声のインジケータが点灯しているときは、運指音声は鳴りません。



NOTE

- 採点中は、運指音声ガイドを使用できません。採点1または2を開始すると運指音声は自動的にオフになります。
- 採点機能を終了すると、運指音声は採点モードに入る前の設定に戻ります。

メトロノームを使うには

本機はメトロノーム音を鳴らすことができます。メトロノーム音には小節の1拍目に鳴るベル音と、その他の拍に鳴るクリック音があります。伴奏（リズム）の無い曲の練習に活用できます。

1 メトロノームボタンを押してメトロノーム音を鳴らします。

- 画面上の“Beat”表示が点灯します。5秒以内に操作2を行ってください。



2 数字ボタンまたは+/-ボタンで拍子を決めます。

- 1、2、3、4、5、6拍子が設定できます。



NOTE

- 1拍子を選んだ場合は、ベル音は鳴らず、クリック音のみが鳴ります。拍子数にかかわらず練習するのに便利です。

3 テンポボタンを押してテンポを決めます。

- ▲…数値が増える（テンポが速くなる）
- ▼…数値が減る（テンポが遅くなる）



NOTE

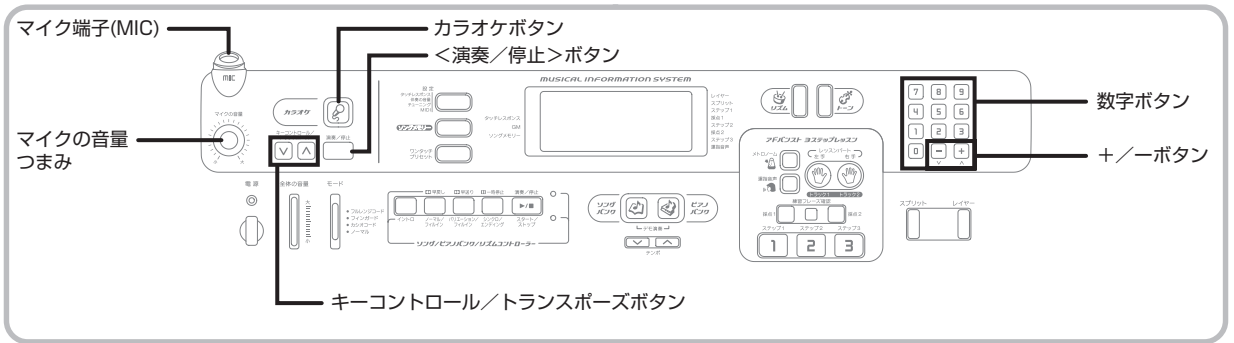
- テンポの数値の点滅中は、数字ボタン*、+/-ボタンでも調節できます。
※“090”のように3桁で入力します。
- テンポボタンの▲/▼ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムや内蔵曲のお勧めのテンポになります。

4 メトロノームボタンまたは演奏/停止ボタンを押すとメトロノーム機能がオフになります。

NOTE

- ステップレッスンのステップ1、ステップ2ではメトロノーム機能は使用できません。
- メトロノーム機能がオンのときに、伴奏を使用していない自動演奏曲またはステップレッスンのステップ3のみを開始するとメトロノーム音を鳴らしながら自動演奏曲を演奏することができます。そのとき、拍子は自動演奏曲の推奨の設定に変わります。
- 伴奏を使用していない自動演奏曲またはステップレッスンのステップ3のみを開始中にメトロノーム機能をオンにすると、メトロノーム音を鳴らしながら自動演奏曲を演奏することができます。このとき、拍子は自動演奏曲の推奨の設定に変わります。

マイクを使って歌ってみましょう

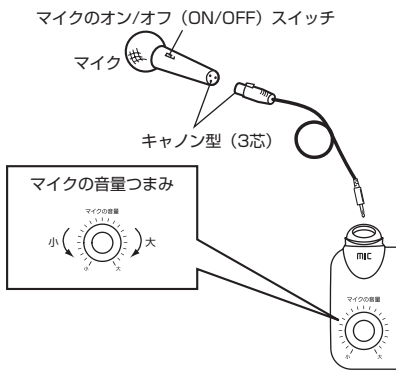


本機に内蔵されている自動演奏曲のうち、ソングバンク／カラオケグループの50曲をボーカル曲として歌うことができます。その中からお好きな曲を選んで歌ってみましょう。

マイク端子について

マイク端子に市販のマイクを接続すれば、自動演奏曲やMIDI音源による演奏でカラオケが楽しめます。マイクを接続するときはマイクボリュームを絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

- ① マイクを接続するときはマイクの音量つまみを“小”の方向に絞っておきましょう。
- ② マイクのオン/オフ (ON/OFF) スイッチを“オン (ON)” にします。
- ③ マイクの音量つまみで適切な音量に調整しましょう。



重要

- マイクを使用しないときは、オン/オフ (ON/OFF) スイッチを“オフ (OFF)” にして、マイクをマイク端子から抜いてください。

マイクは下記条件の整った市販品をご使用ください。

- マイクの種類 : マイク (本体) が金属シールドされたもの
- マイクとコード接続端子 : キャンン型 (3 芯)
- 本機への接続端子 : 標準プラグ (モノラル)

重要

- MIDI端子に外部機器を接続したときに、雑音が入ることもあります。また、雑音を防止するために、マイク本体が金属シールドされたキャンン型マイクを使用してください。
- マイクを使用しないときは、マイクをマイク端子から抜いてください。

●ハウリングについて

下記のようなことを行うと、キーンという音(ハウリング)が発生します。

- マイクを手でおおう。
- マイクをスピーカーに近づける。

このようなときは、マイクの柄の部分を持つようにし、マイクをスピーカーから遠ざければ鳴りやみます。

●ノイズについて

蛍光灯などの近くでマイクを使用するとノイズ(雑音)が発生する場合があります。このような時は、蛍光灯などのノイズを発生させている場所からマイクを離すことでノイズを拾わず、ノイズは鳴らなくなります。

操作手順**準備**

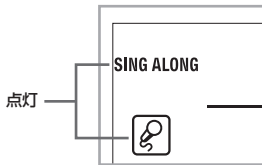
- 全体の音量 (16 ページ)、伴奏の音量 (47 ページ)、マイクの音量つまみ (30 ページ) を調節します。

1 ソングバンク／カラオケリストから曲を選び、その番号を確認します。

- ソングバンク／カラオケリストは、巻末にも記載されています (61 ページ)。

2 カラオケボタンを押してカラオケモードにします。

- カラオケボタンが点灯します。



3 数字ボタンで、曲の番号 (2桁) を入力します。

- 例：“42 アロハ・オエ (ALOHA OE)” なら “4→2” と入力します。

NOTE

- 電源を入れたときは、00 番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、+/- ボタンでも指定できます。

4 <演奏／停止> ボタンを押すと、自動演奏が始まります。

- マイクを使って、曲にあわせて歌ってみましょう。
- カラオケモードはソングバンクモードと曲は同じですが、ソングバンクモード時での演奏にくらべてメロディーパートの音量が小さくなっています。音色も歌のガイドとして聴き易い音色に変更されます。

5 キーコントロール／トランスポーズボタン (Λ/∨) を押して、曲全体の音の高さを変更できます。

- Λ…半音単位で音が上がります。
- ∨…半音単位で音が下がります。

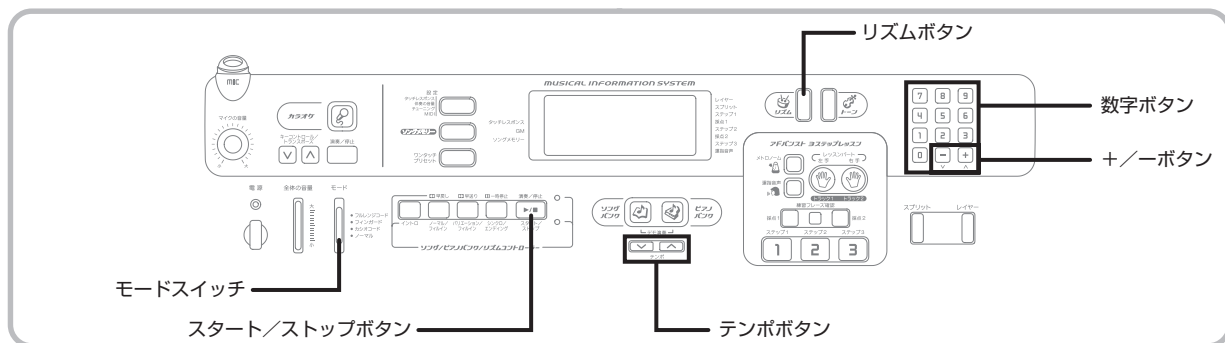
6 <演奏／停止> ボタンを押すと、自動演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

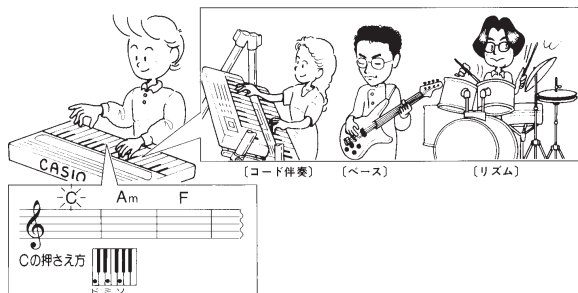
NOTE

- 操作 2 でキーコントロール／トランスポーズボタンの ∨ と Λ を同時に押すと、“00” になります。

自動伴奏を鳴らしてみましょ



本機では曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート(低音部)とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム(打楽器音)と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気に合った音色が鳴ります。これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



3 数字ボタンで、リズムの番号を数字(3桁)で入力します。

例: "076 ルンバ (RHUMBA)" なら "0" → "7" → "6" と入力します。



NOTE

- リズム番号は、+/-ボタンでも指定できます。
- リズムの中には、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていないものもあります。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。

リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

- 1 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- 2 スタート/ストップボタンを押します。
 - 選ばれたリズムが鳴り始めます。
- 3 スタート/ストップボタンを押すと停止します。

NOTE

- モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。

リズムを選ぶには

本機にはロック、ポップス、ジャズなど、120種類のリズムが搭載されています。

- 1 リズムリストから鳴らしたいリズムを選び、その番号を確認します。
 - 本体上のリズムリストでは、リズム名が省略されています。巻末の「リズムリスト」(60ページ)に全リズムが記載されています。
- 2 リズムボタンを押します。

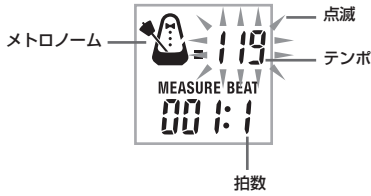


テンポを調節するには

テンポ（1分間に演奏される拍数）を40～255の範囲で調節します。テンポの設定は、ソングバンク、3ステップレックスン、コード自動伴奏、メモリー機能、メトロノーム機能に対して有効です。

1 テンポボタンを押します。

- ↑…数値が増える（速くなる）
- ↓…数値が減る（遅くなる）



NOTE

- テンポの数値の点滅中は、数字ボタン*、+/-ボタンでも調節ができます。
※“090”のように3桁で入力します。
- テンポボタンの↑/↓ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムのお勧めのテンポになります。

コード自動伴奏を鳴らすには

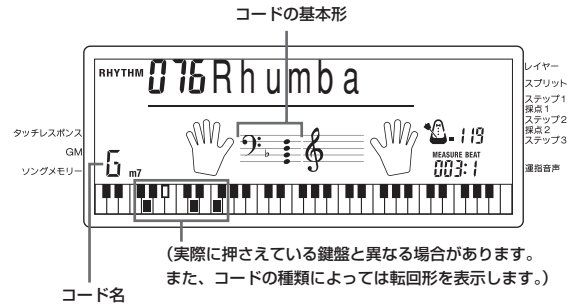
準備

- リズムを選び、テンポを調節します。

- 1 モードスイッチを“カシオコード”“フィンガード”“フルレンジコード”のいずれかに合わせ、コードの指定方法を選びます。
- 2 スタート/ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。

3 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。

- 伴奏鍵盤や具体的な方法については、モードスイッチの設定に応じて、
「カシオコードについて」…… 34ページ
「フィンガードについて」…… 34ページ
「フルレンジコードについて」… 35ページ
をご確認ください。



- 選んだリズムと連動したコード自動伴奏が始まります。

4 スタート/ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。

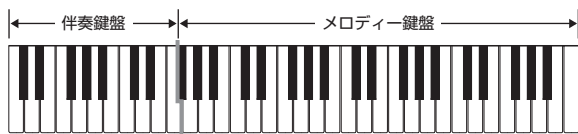
NOTE

- 伴奏パートの音量は、全体の音量とは別に調節できます。詳しくは、47ページの「伴奏の音量を変えるには」を参照してください。

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

【コードの種類】

カシオコードでは最小限の指使いで以下の4種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C(Cメジャー) 音名→ CDEFGABCDEF
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm(Cマイナー) CDEFGABCDEF
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7(Cセブンス) CDEFGABCDEF
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7(Cマイナーセブンス) CDEFGABCDEF

NOTE

- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法(“C”を根音とした場合)は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

C(メジャー) ド ミ ソ	Cm(マイナー) ド ミ ソ	Cdim(ディミニッシュ) ド ミ ファ#
※1 Caug(オーギュメント) ド ミ ラ	Csus4(サスフォー) ド ファソ	※2 C7(セブンス) ド ミ ソ シ
※2 Cm7(マイナーセブンス) ド ミ ソ シ	※2 CM7(メジャーセブンス) ド ミ ソ シ	Cm7b5(マイナーセブンスフラットファイブ) ド ミ ファ# シ
※1 C7b5(セブンスフラットファイブ) ド ミ ファ# シ	C7sus4(セブンスサスフォー) ド ファソ シ	※2 Cadd9(アドナインズ) ドレミ ソ
※2 Cmadd9(マイナーアドナインズ) ドレミ ソ	※2 CmM7(マイナーメジャーセブンス) ド ミ ソ シ	※1 Cdim7(ディミニッシュセブンス) ド ミ ファ# ラ

★ 根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(67ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

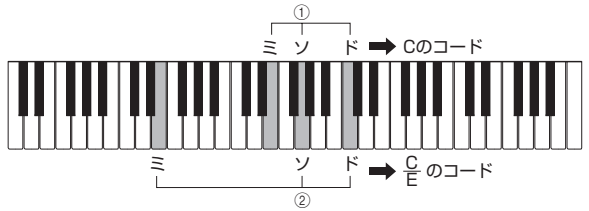
- ※1: 転回形(下のNOTEを参照)は使えません。最低音が根音となります。
- ※2: 5度のソの音を押さなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方（例えばCを「ドミソ」と押さえる）だけでなく、転回形（コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる）も有効です。
…※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
…※2のコードを除く。

(例) Cメジャーの場合

Cメジャーの構成音は、「ド・ミ・ソ」です。
鍵盤で「ド・ミ・ソ」と押さえると、下記のように指定されます。

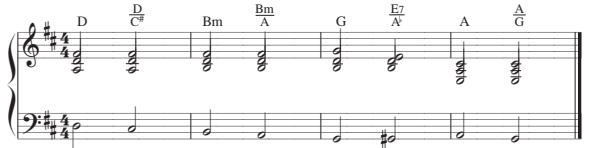


《ポイント》

- 転回形についてはフィンガードと同様です。(①)
- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。(②)

●フルレンジコードを使って演奏してみましょう

音色 023、リズム 005、テンポ 070
シンクロ/エンディングボタンを押す。



フルレンジコードについて

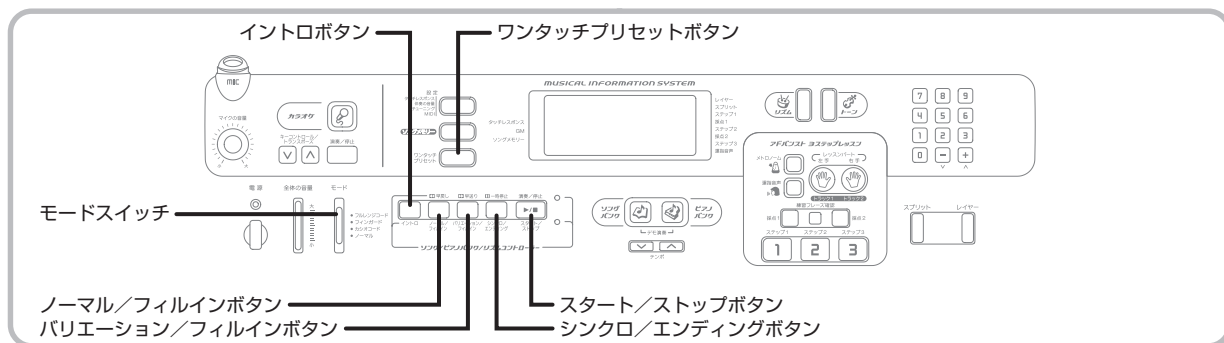
この方法で指定できるコードは、フィンガードの15種類に23種類加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を3つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外（本機が判別できないコードや2つ以下の鍵盤を押している場合）ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

【フルレンジコードの伴奏/メロディー鍵盤】



《本機で判別できるコード》

分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類（34ページ「フィンガードについて」参照）
それ以外のコード	23種類 以下は、「C」をベース音とした場合の例です。 C6、Cm6、C69 C#、D、E、F、G、A ^b 、B ^b C、C、C、C、C、C、C、 B、C#m、Dm、Fm、Gm、Am、B ^b m C、C、C、C、C、C、C、 Dm7 ^{b5} 、A ^b 7、F7、Fm7、Gm7、A ^b add9 C、C、C、C、C、C、C、



イントロを入れるには

リズム演奏や自動伴奏を始める前にイントロ（前奏）を加えることができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- モードスイッチでコードの指定方法を選ぶ。

1 イントロボタンを押します。

- 選んだリズムに応じたイントロを開始します。
- このとき伴奏鍵盤を弾くと、イントロに自動伴奏が加わりません。

NOTE

- イントロが鳴り終わると通常のリズムに戻ります。
- イントロが鳴っているときに、バリエーション/フィルインボタンを押すと、イントロが鳴り終わってからバリエーションのリズムになります。
- イントロが鳴っているときに、シンクロ/エンディングボタンを押すと、イントロが鳴り終わってからエンディングのリズムになります。

フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

1 スタート/ストップボタンを押してリズムを鳴らします。

2 ノーマル/フィルインボタンを押します。

- リズムにフィルインが入ります。

NOTE

- イントロが鳴っている最中にボタンを押しても、フィルインは鳴りません。

同じリズムで演奏パターンを変化させるには

通常のリズムと演奏パターンを異なるリズム（バリエーション）に切り替え、伴奏の雰囲気を変化させます。

1 スタート/ストップボタンを押してリズムを鳴らします。

2 バリエーション/フィルインボタンを押します。

- 選んだリズムのバリエーションに切り替わります。

NOTE

- 通常（ノーマル）のリズムに戻すには、ノーマル/フィルインボタンを押します。

バリエーションのリズムにフィルインを入れるには

バリエーションのリズムに変化を付けます。

1 バリエーションのリズムが鳴っているときに、バリエーション/フィルインボタンを押します。

- バリエーションのリズムにフィルインが入ります。

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせる方法です。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

- 1 シンクロ／エンディングボタンを押してシンクロスタートの待機状態にします。



- 2 伴奏鍵盤でコードを指定します。
 - リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

NOTE

- コードの指定方法をノーマルにしておくと、リズムのみが鳴り始めます。
- 鍵盤を押す前にイントロボタンを押しておくと、イントロからシンクロスタートします。
- 鍵盤を押す前にバリエーション／フィルインボタンを押しておくとバリエーションからシンクロスタートします。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロ／エンディングボタンを押すと待機状態が解除されます。

エンディングを付けて曲を終わらせるには

選ばれたリズムに最適なエンディングを加え、伴奏を自動的に停止します。

- 1 リズム（伴奏）が鳴っているときに、シンクロ／エンディングボタンを押します。
 - リズムに応じたエンディングに切り替わり、リズム（伴奏）を終了します。

NOTE

- 各小節の2拍目より前にボタンを押すと瞬時にエンディングを開始し、2拍目以降に押すと次の小節からエンディングを開始します。

ワンタッチプリセットを使うには

ワンタッチプリセットとは、各リズムパターンごとに、そのリズムに良くマッチした音色やテンポ設定などを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

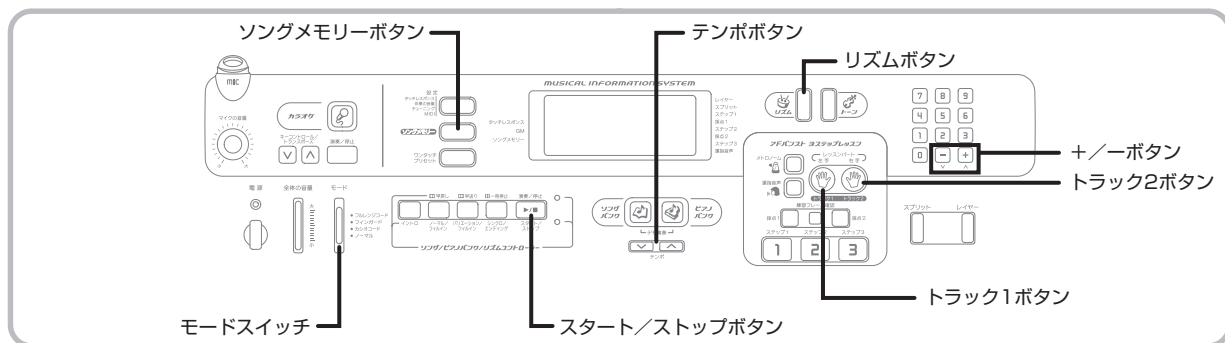
ワンタッチプリセットでは、次の設定がリズムパターンごとにあらかじめ設定されています。

- 鍵盤の音色
- レイヤー、スプリットまたはレイヤースプリットのオン／オフ
- レイヤー、スプリットまたはレイヤースプリットがオンの場合のその音色
- テンポ
- 伴奏の音量

ワンタッチプリセットの操作手順

- 1 リズムを選択します。
- 2 モードスイッチを使って、コードの指定方法を選択します。
- 3 ワンタッチプリセットボタンを押します。
 - 鍵盤の音色やテンポなどが、現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。シンクロスタートの待機状態になります。
- 4 伴奏鍵盤でコードを指定します。
 - リズムとコード伴奏が同時にスタートします。
 - ワンタッチプリセットによる設定での演奏ができます。

演奏を録音してみましょう



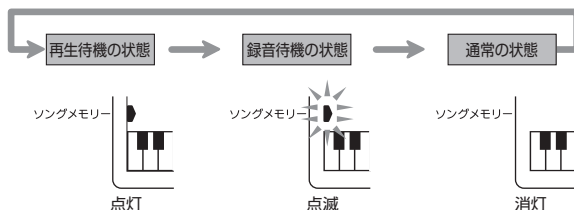
本機には、鍵盤の演奏を録音して2曲までオリジナル曲が作れるソングメモリー機能が装備されています。テープレコーダーの感覚で鍵盤演奏をそのまま録音したり、さらに音を重ねて録音したり、録音したあとにテンポを変更して再生することも可能です。録音の方法は、鍵盤演奏をそのまま録音する「リアルタイム録音」です。

NOTE

- ソングメモリー機能を使うときには、リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。

ソングメモリーボタンの使い方

ソングメモリーボタンを、1回押すごとに以下のように状態が切り替わります。



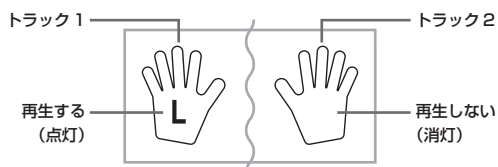
トラックの選択と液晶表示の見方

トラックを選ぶにはトラック1の場合はトラック1ボタンを、トラック2の場合はトラック2ボタンを押します。液晶表示で、トラック1とトラック2の状態を、それぞれLとRの文字の表示で知ることができます。

●再生待機の状態

ボタンを押すごとに各トラックを再生するか、再生しないかが切り替わります。

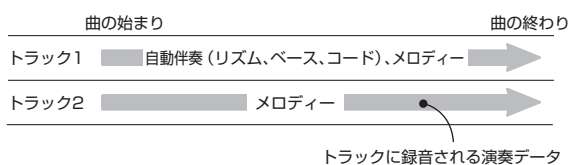
再生するトラックは対応する文字の表示が点灯し、再生しないトラックは消灯します。



★ この場合トラック1が再生する、トラック2が再生しない状態に設定されています。

トラックについて

本機では1曲に対して異なる演奏内容を2つまで重ねて録音できます。2つの異なる演奏内容や音色番号は、メモリー内の個別の位置(これをトラックと呼びます)にデータとして記録されます。

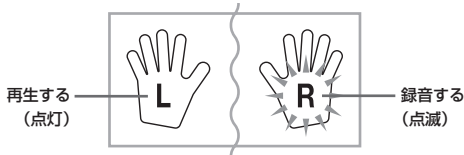


- 本機ではトラック1が基本トラックになっており、自動伴奏とメロディーの両方を録音できます。トラック2はメロディー専用トラックで、音を重ねて録音するときに利用します。
- それぞれのトラックは独立しているので、弾き間違えて録音しても、そのトラックだけ録音し直すことができます。

●録音待機の状態

ボタンを押した方のトラックが録音待機の状態になります。再生するトラックは、対応する文字の表示が点灯し、トラック1ボタンまたはトラック2ボタンを押すと録音を指定したトラックは点滅します。

トラックを選択していない状態で、トラックにデータがある場合はそのトラックの表示が点灯します。



★ この場合トラック1が再生され、トラック2が録音されます。

演奏をそのまま録音してみましょう

リアルタイム録音を使って、コード伴奏や鍵盤の演奏をそのまま録音してみましょう。

1 ソングメモリーボタンを押して、録音待機の状態にします。



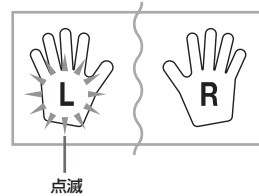
2 +/−ボタンで曲の番号0か1(ソングナンバー)を選びます。



★ この時点ではまだ録音するトラックは選ばれていません。
★ この表示のときに約5秒間何も操作せずにいると、録音待機状態のまま音色やリズムを選べる通常の表示に戻ります。

3 トラック1ボタンを押して、トラック1を選びます。

● このとき録音するトラックは点滅します。



4 必要に応じて次の設定を行います。

- 音色番号 (16 ページ)
- リズム番号 (32 ページ)
- モードスイッチ (33 ページ)

★ 速いテンポで弾くのが苦手な方は、テンポボタンを使ってあらかじめテンポを下げてください (33 ページ)。

5 スタート/ストップボタンを押します。

● リアルタイム録音が開始されます。

6 鍵盤で演奏します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定するとそのコードの自動伴奏がそのまま録音されます。またメロディー鍵盤を弾くと演奏がそのまま録音されます。
- 演奏中にペダルを利用している場合、ペダルの操作もそのまま録音されます。

7 演奏が終わったら、スタート/ストップボタンで録音を終了します。

★ 録音中に弾きまちがえたときは、操作1からやり直します。

NOTE

- リアルタイム録音で、すでに録音したトラックに再度録音する場合、以前録音されたデータが消えて新しいデータが上書きされます。

リアルタイム録音でトラック1に記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容がトラックに記録され、録音時のまま再生されます。

- 音色番号
- リズム番号
- イントロボタン、シンクロ／エンディングボタン、ノーマル／フィルインボタン、バリエーション／フィルインボタンの操作
- ペダル操作

録音できる長さ（メモリー容量）

ソングメモリー機能で録音できる音符は、2曲合わせて約5100音符です。1曲で5100音符を使いきってしまうと、2曲目は録音できません。

- 録音中に録音できる音符が約100音符以下になると、小節数と拍数の液晶表示が点滅します。



- 録音中にメモリーの容量がいっぱいになると、録音が自動的に終了します（自動伴奏やリズムを鳴らしているときは、その音も止まります）。

録音内容の保持について

- 新しく録音した時点で、以前の録音内容は消えてしまいます。
- 電池やACアダプターで電源を供給している間は、電源をオフにしても録音内容が保持されます。電池で利用しているときに電池を抜いたり、電池が消耗すると録音内容が消去されます。電池の交換は、ACアダプターを接続した状態で行うことをおすすめします。
- 録音中に電源が切れると、録音中のトラックの内容はすべて消去されます。

トラック1にリアルタイム録音する場合の応用例

● リズムなしで録音するには

操作5を省略します。

- 鍵盤を押すと同時に、リズムなしで演奏内容が録音されません。

● シンクロスタートで録音を始めるには

操作5の代わりにシンクロ／エンディングボタンを押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

● 前奏やエンディング、フィルインを入れて録音するには

録音中はイントロボタン、シンクロ／エンディングボタン、ノーマル／フィルインボタン、バリエーション／フィルインボタンが使用できます。

● シンクロスタートで前奏から録音を始めるには

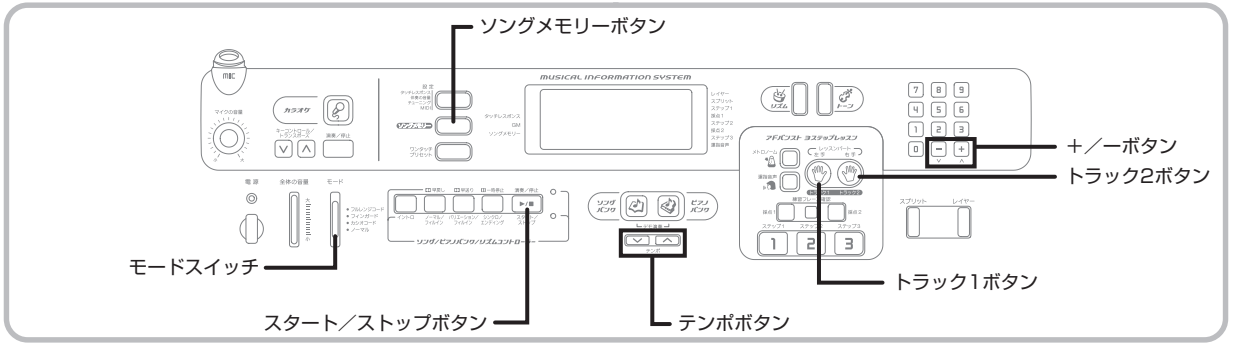
操作5の代わりに、シンクロ／エンディングボタンとイントロボタンを続けて押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、コード伴奏付きの前奏と同時に録音がスタートします。

● 録音途中から自動伴奏をスタートさせるには

操作5の代わりにシンクロ／エンディングボタンを押し、メロディー鍵盤で演奏を始めます。

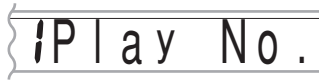
- 伴奏なしでメロディーの録音を開始します。録音の途中で伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏がスタートします。



録音した演奏を聴いてみましょう

トラックに録音した演奏内容を再生してみましょう。

- 1 ソングメモリーボタンを押して再生待機の状態にし、+/-ボタンでソングナンバー(0か1)を選びます。



★ソングナンバー表示は、約5秒後消えます(再生待機の状態はそのままです)。もう一度表示させるには、ソングナンバーが表示されるまでソングメモリーボタンを続けて押して再生待機の状態にしてください。

- 2 スタート/ストップボタンを押します。

●録音された演奏内容を再生します。ソングメモリー再生時にトラック1ボタンやトラック2ボタンを押すことで、録音された伴奏やメロディーをそれぞれ消して聴くこともできます。



●テンポボタンでテンポを調節できます。

- 3 スタート/ストップボタンで再生を停止します。

NOTE

- ソングメモリーの再生中にはモードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤がすべてメロディー鍵盤となり、録音した演奏に合わせて弾くことができます。このときスプリットやレイヤー機能(44~45ページ参照)を使えば、異なる音色を鍵盤の左右で分けて弾いたり、異なる音を重ねて演奏することもできます。
- ソングメモリーの再生では一時停止、早送り、早戻しの操作はできません。

メロディーの演奏を重ね録音してみましょう

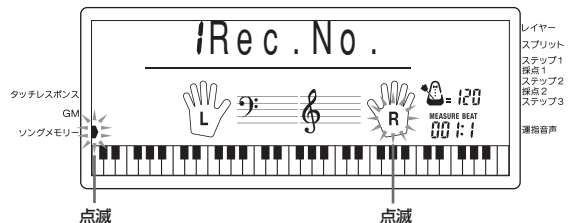
トラック1に録音した演奏に合わせ、トラック2にメロディーを重ねて録音してみましょう。

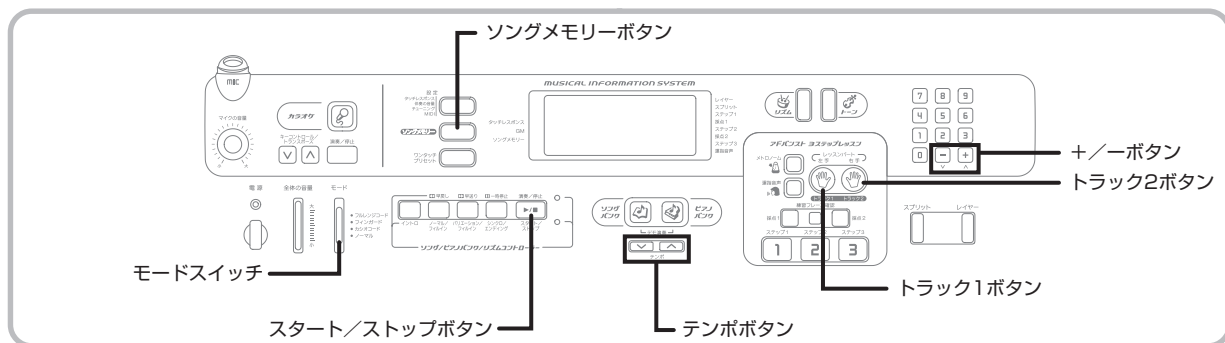
- 1 ソングメモリーボタンを押して録音待機の状態にし、+/-ボタンでソングナンバー(0か1)を選びます。



★この時点では、まだ録音するトラックは選ばれていません。

- 2 トラック2ボタンを押して、トラック2を選びます。





- 3 必要に応じて次の設定を行います。
 - 音色番号
 - ★ 速いテンポで弾くのが苦手な方は、テンポボタンを使ってあらかじめテンポを下げてください。
- 4 スタート/ストップボタンを押します。
 - トラック2のリアルタイム録音を開始します。
 - トラック1は再生を始めます。
- 5 トラック1を聴きながら、メロディーを演奏します。
- 6 録音が終わったら、スタート/ストップボタンを押して録音を終了します。
 - ★ 録音中に弾きまちがえたときは、操作1からやり直します。

NOTE

- トラック2はメロディー専用のトラックのため、コード伴奏は録音できません。このためトラック2に録音するときは、モードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤はすべてメロディー鍵盤になります。
- 録音済のトラックのメロディーを再生させないで録音したい場合は、あらかじめ、再生待機の状態に設定してから録音待機の状態にして録音を開始してください。ただし、リズムや自動伴奏は消すことはできません。

リアルタイム録音でトラック2に録音される内容

鍵盤の演奏以外にも以下の内容が録音されます。

- 音色番号
- ペダルの操作

特定のトラックを消去するには

録音済みのトラックを曲の最初から最後まで消去します。

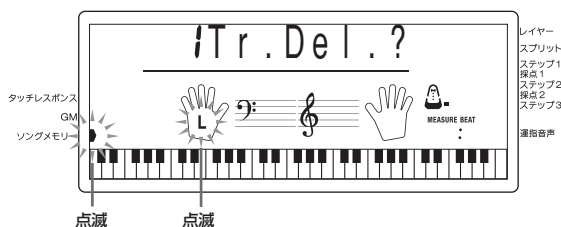
- 1 ソングメモリーボタンを押して録音の待機状態にし、+/-ボタンで消去したいトラックのあるソングナンバー(0か1)を選びます。



- 2 ソングメモリーボタンを押し続けます。
 - トラックを消去する状態が表示が切り替わります。



- 3 トラック1ボタンまたはトラック2ボタンを押して、消去したいトラックを選びます。
 - 例：トラック消去でトラック1を選んだ状態



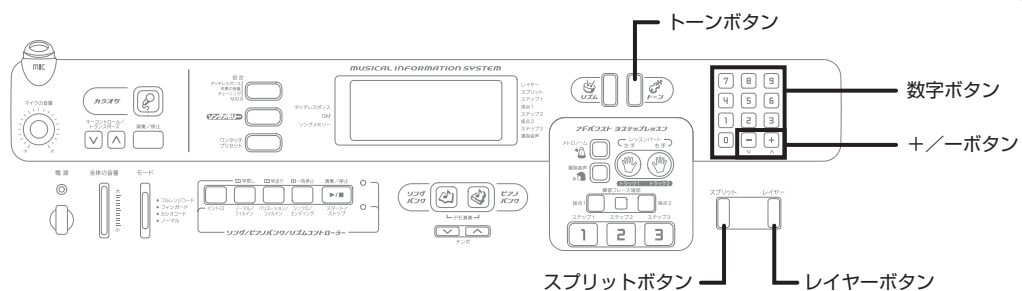
- 4 +ボタンを押します。
 - 選ばれたトラックが消去され、ソングメモリー再生の待機状態になります。



NOTE

- 操作3の状態でも約5秒間何も操作しないと、通常の状態にもどります。
- 操作3の状態でもソングナンバーを変更することはできません。
- 録音されていないトラックは選択できません。
- トラックを消去する状態でソングメモリーボタンを押すと、録音待機の状態に戻ります。

設定を変えてみましょう



本機では、鍵盤の設定を変更することで2種類の音色を重ねて鍵盤で演奏したり、鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てて演奏するなど、幅広い演奏方法を楽しむことができます。

NOTE

- レイヤー機能やスプリット機能は、内蔵曲の再生中やレッスン機能中は使用できません。

レイヤー機能を利用するには

レイヤー機能とは、2種類の音色を重ねて演奏するための機能です。この機能を利用すれば内蔵音色の中から2つの音色（メイン音色とレイヤー音色）を選んで同時に発音させることで、まったく新しいサウンドを作ることができます。例えばブラスの音色にフレンチホルンの音色を重ねれば、厚みのあるブラスサウンドで鍵盤演奏が楽しめます。

1 メイン音色を指定します。

例：“078 ブラス (BRASS)” の音色を指定する場合は、トーンボタンを押し、数字ボタンで“0→7→8”と入力します。



2 レイヤーボタンを押します。



3 レイヤー音色を指定します。

例：“077 フレンチホルン (FRENCH HORN)” の音色を重ねる場合は、数字ボタンで“0→7→7”と入力します。



4 鍵盤を弾いてみましょう。

- ブラスとフレンチホルンが同時に鳴ります。

5 レイヤーボタンを押すと通常の状態に戻ります。

【レイヤー】



スプリット機能を利用するには

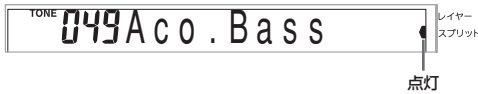
スプリット機能とは、2つの音色を鍵盤の高音部と低音部に分ける機能です。両手で鍵盤を演奏するとき、この機能で鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てれば、2種類の楽器を左右に分けて演奏できます。例えば低音部にピチカート、高音部にストリングスを割り当てることで、ストリングスアンサンブルを弾き分けることができます。

1 メイン音色（高音部の音色）を指定します。

例：“062 ストリングス (STRINGS)” の音色を指定する場合は、トーンボタンを押し、数字ボタンで“0→6→2”と入力します。



2 スプリットボタンを押します。



3 スプリット音色（低音部）を指定します。

例：“060 ピチカート(PIZZICATO STRINGS)”の音色で鍵盤を分けたい場合は、数字ボタンで“0→6→0”と入力します。



4 低音部と高音部の境目（スプリットポイント）を指定します。

例：F#3とG3の鍵盤で分ける場合は、スプリットボタンを押しながらG3の鍵を弾きます。

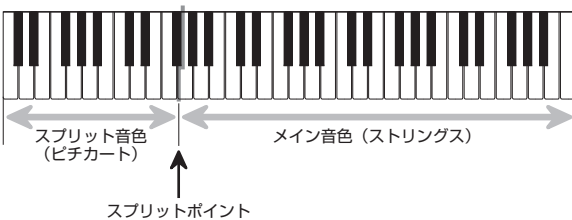


5 鍵盤を弾いてみましょう。

●F#3より下の鍵盤でピチカートの音色が鳴り、G3から上の鍵盤でストリングスの音色が鳴ります。

6 もう一度スプリットボタンを押すと、通常の状態に戻ります。

【スプリット】

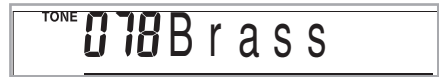


レイヤーとスプリットを同時に使うには

レイヤーの状態からスプリットボタンを押すか、スプリットの状態からレイヤーボタンを押すと、それぞれの機能の特徴を兼ね備えた「レイヤースプリット」という状態で利用できます。これは、2種類のレイヤーサウンドが鍵盤の高音部（メイン音色+レイヤー音色）と低音部（スプリット音色+レイヤースプリット音色）で発音します。

1 メイン音色を指定します。

例：メイン音色が“078 プラス (BRASS)”の場合



2 スプリット機能を使ってスプリット音色を指定します。



●指定後は、スプリットを解除しておきます。

3 レイヤー機能を使ってレイヤー音色を指定します。

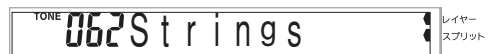
例：レイヤー音色が“077 フレンチホルン (FRENCH HORN)”、スプリット音色が“060 ピチカート (PIZZICATO STRINGS)”の場合



4 スプリットの状態からレイヤーボタン、またはレイヤーの状態からスプリットボタンを押して、レイヤースプリットの状態にします。

5 レイヤースプリット音色を指定します。

例：“062 ストリングス (STRINGS)”の音色を指定する場合は、数字ボタンで“0→6→2”と入力します。



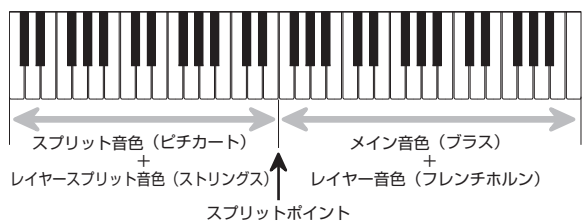
6 スプリットポイントを指定します。

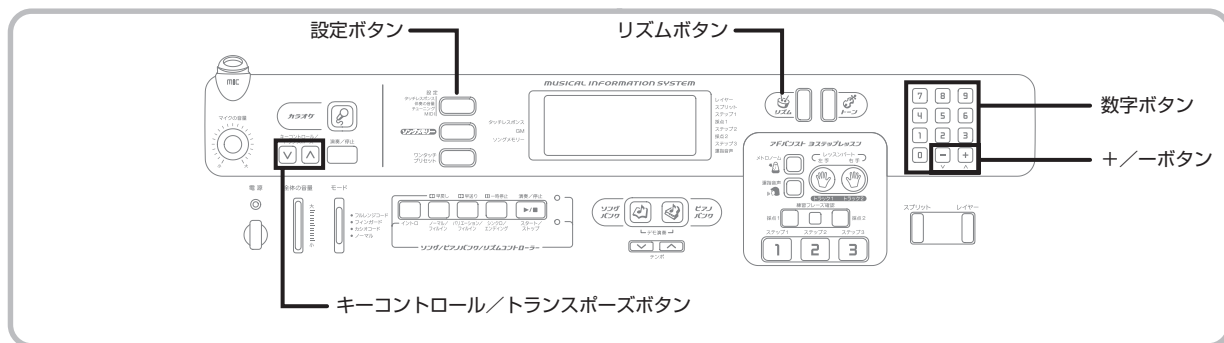
例：F4の鍵盤で分ける場合は、スプリットボタンを押しながらF4の鍵を押します。

7 鍵盤を弾いてみましょう。

●レイヤーボタンとスプリットボタンを押すと通常の状態に戻ります。

【レイヤースプリット】





トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのまま、簡単に音の高さを変えることができます。

- 1 リズムボタンを押して、リズムモードにします。
 - ソングバンクモードあるいはピアノバンクモード中は、トランスポーズ機能を設定できません。
- 2 キーコントロール/トランスポーズボタン (▲/▼) で音の高さを設定します。
 - ▲…半音単位で音が上がります。
 - ▼…半音単位で音が下がります。
 - 例：5半音上にトランスポーズさせる場合。

OSTrans.

NOTE

- トランスポーズの設定範囲は-12(1オクターブ下)～+12(1オクターブ上)です。
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、メモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。
- 操作2でキーコントロール/トランスポーズボタンの▲と▼を同時に押すと、“00”になります。+ボタンと-ボタンを同時に押しても“00”になります。
- 出る音の高さは、音色によって異なります。トランスポーズの結果、その音色域よりも高くなった範囲あるいは低くなった範囲は、同じ音色で一番近い発音域内の音(オクターブ違い)に置きかわります。

タッチレスポンス機能を利用するには

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を弾く強弱で音量を変化させるかどうか決める機能です。タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量が変化します。

タッチレスポンスは以下の3種類から設定できます。

- OFF(オフ)：タッチレスポンス機能が解除された状態です。鍵盤を弾く強さに関わらず、音の大きさが一定になります。
- 1：通常のピアノ演奏に適した感度のタッチレスポンスがかかります。
- 2：“1”の場合よりも、より大きな音が出しやすくなります。

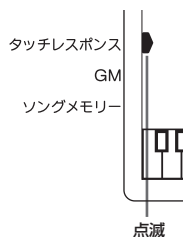
- 1 設定ボタンを押してタッチレスポンスの設定画面にします(通常の状態から1回ボタンを押します)。

!Touch

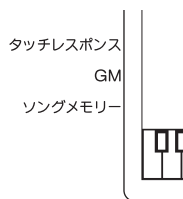
- 2 +/-ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。
 - 例：2に変更します。

2Touch

- タッチレスポンス機能がオンの場合。



- タッチレスポンス機能がオフの場合。



NOTE

- タッチレスポンス機能の動作は、本機の内蔵音源だけでなくMIDIアウトの情報にも反映します。
- ソングメモリー再生や、伴奏、外部からのMIDIノート情報は、タッチレスポンス機能の設定に影響されません。

設定ボタンについて

通常の状態から設定ボタンを押すことで、タッチレスポンスやチューニングを設定する画面に切り替えられます。画面の中にはMIDIを使うためのさまざまな機能の画面（48ページ）も含まれており、設定ボタンを押すたびにそれぞれの画面が順番に切り替わり、最後に通常の状態に戻ります（通常の状態から12回ボタンを押すと、通常の状態に戻ります）。呼び出したい画面を行き過ぎた場合は、再度その画面が表示されるまで設定ボタンを押してください。

伴奏の音量を変えるには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。伴奏の音量の範囲は、最小“000”～最大“127”です。

- 1 設定ボタンを2回押して、伴奏の音量の設定画面にします。



- 2 + / - ボタンまたは数字ボタンで伴奏の音量を指定します。

例：110



NOTE

- 操作1の後、表示は5秒で元に戻ります。
- 操作2で+と-ボタンを同時に押したときは、“075”になります。

チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

- 1 設定ボタンを3回押してチューニングの設定画面にします。



- 2 + / - ボタンまたは数字ボタンでチューニングの量を調節します。

例：チューニングを20下げの場合。



NOTE

- チューニングの設定範囲は-50～+50で、±約50セント*です。
※100セント＝半音
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- チューニングの設定は、ソングメモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映します。
- 操作2で+ボタンと-ボタンを同時に押すと、“00”になります。

MIDI を使ってみましょう

MIDI について

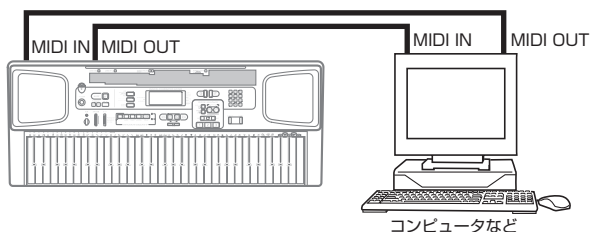
MIDI(ミディ)は、Musical Instrument Digital Interface の略で、電子楽器どうし、あるいは電子楽器とコンピューター機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。たとえメーカーや機種が違って、MIDI 対応の機器どうしであれば「鍵盤を弾いた/離れた」「音色を切り替えた」といった情報(これらをメッセージと呼びます)を相手に伝えることができます。

本機を単体で使用する場合は、特に MIDI の知識がなくても十分楽しめますが、コンピューターなどの外部機器と組み合わせて使用する場合は、MIDI について最小限知っておくと便利です。ここでは MIDI の仕組みやメッセージの種類について簡単に説明しておきましょう。

MIDI の接続について

MIDI のメッセージは、ある機器の MIDI アウト端子から他の機器の MIDI イン端子へと、MIDI ケーブルを通じて一方通行で送られます。例えば本機から外部機器へとメッセージを送るには、本機の MIDI アウト端子と外部機器の MIDI イン端子を MIDI ケーブルで接続します。逆に外部機器から本機へメッセージを送るには、本機の MIDI イン端子と外部機器の MIDI アウト端子を接続します。

コンピューターなどの外部機器に本機の演奏内容を録音/再生する場合は、お互いの MIDI イン/アウトどうしを接続して、双方向で MIDI メッセージのやり取りができますようにします。

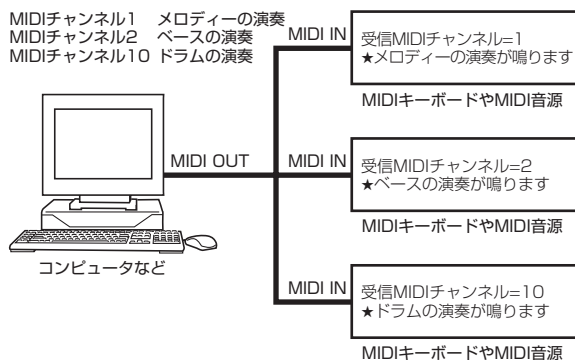


★ このとき、コンピューターやシーケンサー(自動演奏装置)で MIDI スルー機能(MIDI インで受信した情報をそのまま MIDI アウトに出力する機能)を利用する場合は、本機のローカルコントロールをオフにしてください(51 ページ参照)。

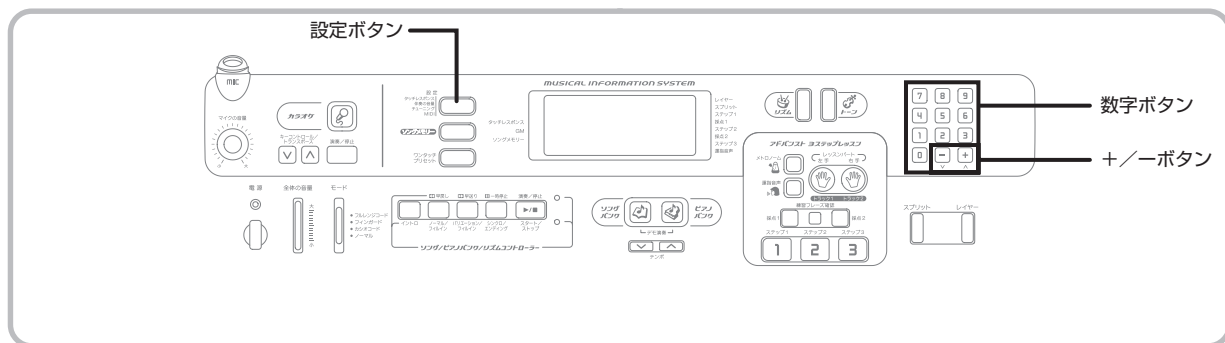
MIDI チャンネルについて

MIDI を使って情報をやり取りするとき、同時に複数のパートの演奏情報を送ることができます。それぞれのパートを区別するのが「MIDI チャンネル」と呼ばれる情報です。MIDI チャンネルには 1~16 までの 16 チャンネルがあり、MIDI でやり取りする演奏情報(鍵盤を弾く、ペダルを踏むなどの情報)には、必ずこの MIDI チャンネルの情報が含まれています。

例えばご家庭のテレビでは、チャンネルを選ぶことで、1 本のアンテナが受信した複数の電波の中から、特定の電波のみ画面に映し出します。同じように MIDI チャンネルの場合も、受け側で MIDI チャンネルを設定することで、送り側の MIDI チャンネルと一致した演奏情報のみを受け側が発音します。例えば受け側が MIDI チャンネル 2 に設定されている場合、MIDI チャンネル 2 の演奏情報のみを受信して他の MIDI チャンネルの演奏情報は無視します。



本機では 16 の MIDI チャンネルすべてのメッセージを受信できるので、チャンネルごとの音色や音量を個別に設定したり、最高 16 楽器パートを演奏することもできます(これをマルチティンバー機能と呼びます)。逆に本機の鍵盤やペダルの操作を外部に送信する場合は、MIDI チャンネル 1~16 の中からチャンネルを 1 つ選んで送信します。



GM について

MIDI を使えばメーカーや機種が異なる機器どうしでも演奏情報や音色番号などをやり取りできることは、すでに説明しました。ところが、MIDI で送られる演奏情報とは音そのものではなく、鍵盤を押した／離れた、何番の音色を選んだという情報に過ぎません。

例えば A 社のキーボードでは 1 番の音色がピアノなのに、B 社のキーボードでは 1 番の音色がベースだった場合、せっかく演奏情報を送っても全く別の演奏になってしまいます。また、コンピューターやシーケンサーなど自動演奏機能を持つ機器を使って A 社のキーボード用に 16 パート（16 チャンネル）の自動演奏データを作っても、B 社のキーボードが 10 パート（10 チャンネル）までしか受信できなければ、演奏できないパートが出てきてしまいます。

そこで、音色の並び順やパート数など演奏に必要な最小限の仕組みについてはある程度共通化できるように、各メーカーの話し合いで決められた推奨規格が GM (General MIDI) と呼ばれるものです。

GM の規格では、音色の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能な MIDI チャンネル数など、音源部分の仕組みについて決められています。このため、GM 音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも、比較的同系統の音色、同じニュアンスで再生することができます。

本機の音源部分は GM 規格に対応していますので、市販の GM 対応データやパソコン通信などで流通している GM 対応データを、コンピューターなどの外部機器と接続することで再生することができます。

MIDI の設定を変えるには

本機は、単体で楽しむだけでなく、外部のシーケンサーやシンセサイザーなどと組み合わせて、市販の GM 対応データを再生したり同時に演奏することができます。ここでは、外部機器と併用する場合に必要な MIDI の設定方法について説明します。

設定ボタンの使い方

通常の状態から設定ボタンを押すたびに、MIDI を使うためのさまざまな機能の画面を呼び出します。このボタンを押すたびに画面が循環して切り替わり、最終的には通常の状態に戻ります（通常の状態から 12 回ボタンを押すと、もう一度通常の状態に戻ります）。呼び出したい画面を行き過ぎた場合は、再度その画面が表示されるまで設定ボタンを押してください。なお、このボタンによる操作は画面呼び出し後、約 5 秒放置すると、自動的に元の画面に戻ります。各操作は 5 秒以内に行なってください。

GM システム オン／オフの設定 (初期値: オフ)

本機を GM 対応音源として利用したい場合に使用します。

● GM システムがオン (on) の場合:

本機を使ってコンピューターなどの外部機器から GM 対応データを演奏できます。このとき MIDI インコードジャッジ機能は利用できません。

● GM システムがオフ (off) の場合:

MIDI インコードジャッジが利用できるようになります。

1 設定ボタンを押して GM システム オン／オフの設定画面にします (通常の状態から 4 回ボタンを押します)。

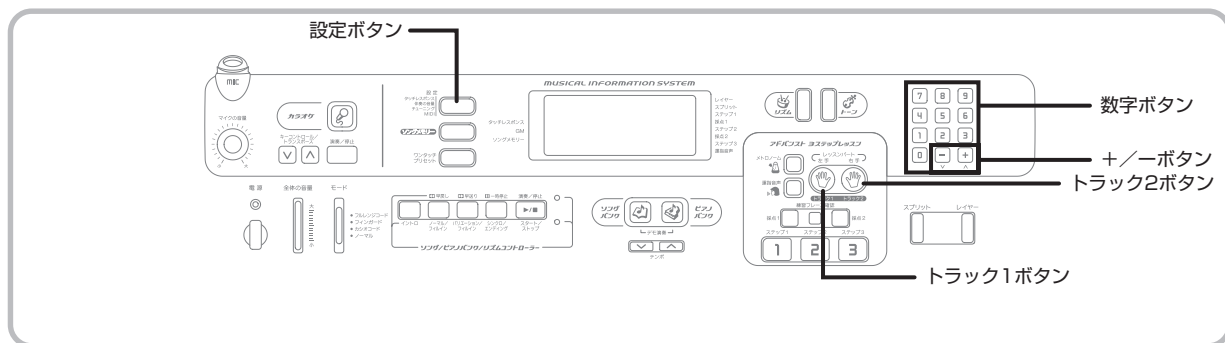
例: GM システムはオフの状態です。



2 +/-ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例: GM システムをオンにします。





キーボードチャンネルの設定 (初期値: 1)

キーボードチャンネルとはキーボードのMIDIメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルのことです。キーボードチャンネルは1～16のMIDIチャンネルの中から1つ指定します。

- 1 設定ボタンを押してキーボードチャンネルの設定画面にします (通常の状態から5回ボタンを押します)。

01Keybd Ch

- 2 +/-ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。
例: MIDIチャンネル4をキーボードチャンネルに設定します。

04Keybd Ch

ナビゲートチャンネルの設定 (初期値: 4)

ナビゲートチャンネルとは、MIDIメッセージを受信し本機で演奏したときに、音符情報を本機の液晶画面で表示させるMIDIチャンネルのことです。ナビゲートチャンネルは1～8のMIDIチャンネルの中から選びます。市販のMIDIデータの好きなパートを画面で表示させて、弾き方を研究するのに便利です。

- 1 設定ボタンを押してナビゲートチャンネルの設定画面にします (通常の状態から6回ボタンを押します)。

4Navi. Ch

- 2 +/-ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例: MIDIチャンネル2をナビゲートチャンネルに設定します。

2Navi. Ch

NOTE

- MIDIインコードジャッジをオンにすると、ナビゲートチャンネルは自動的に1Chになります。

- 受信中のMIDIデータ再生中に任意の音をオフするには《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルのオン/オフ》

- 1 MIDIデータ再生中にトラック2ボタンを押します。
 - ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの音は消えますが、画面の鍵盤表示部は送られてくるデータ通りに点灯します。オンにするには再度押します。

- 《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの-1チャンネルのオン/オフ》

- 1 MIDIデータ再生中にトラック1ボタンを押します。
 - ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの-1チャンネルの音が消えます。画面の鍵盤表示部は-1チャンネルのデータが点灯します。オンに戻すには再度押します。
 - 例: ナビゲートチャンネル:4Chの場合→3Chの音が消えます。
ナビゲートチャンネル:1Chまたは2Chの場合→8Chの音が消えます。

MIDIインコードジャッジ オン/オフの設定 (初期値: オフ)

MIDI イン端子を通じて外部から送られる音符情報を使って、本機のコードを指定したい場合に使用します。コンピューターなどの外部機器から、自動伴奏のコード進行をコントロールしたいときに便利です。

- MIDIインコードジャッジがオン (on) の場合:
 - モードスイッチでコードの指定方法が選ばれているとき、MIDI イン端子から入力されたキーボードチャンネルのノート情報でコードが指定できます。
- MIDIインコードジャッジがオフ (off) の場合:
 - MIDIインコードジャッジ機能が解除されます。

- 1 設定ボタンを押してMIDIインコードジャッジ オン/オフの設定画面にします(通常の状態から7回ボタンを押します)。

例: MIDI インコードジャッジはオフの状態です。

off Chord

- 2 +/−ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例: MIDI インコードジャッジをオンにします。

on Chord

NOTE

- ナビゲートチャンネルを1Ch以外に変えると、MIDIインコードジャッジは自動的にオフになります。

ローカルコントロール オン/オフの設定 (初期値:オン)

本機の鍵盤部分と音源部分を内部的に接続するかどうかを設定します。コンピューターなどの外部機器と本機のMIDIイン/アウト端子どうしを接続して演奏内容を外部機器に録音するときに、ローカルコントロールをオフにして本機の鍵盤部分と音源部分を切り離れた方が便利ことがあります。

- ローカルコントロールがオン (on) の場合:

鍵盤の演奏情報は本体の音源で発音し、同時にMIDIアウト端子からMIDIメッセージとして送られます。
- ローカルコントロールがオフ (off) の場合:

鍵盤による演奏情報は、MIDIアウト端子からMIDIメッセージとして送られますが、本体の音源は発音しません。コンピューターなどの外部機器側のMIDIスルー機能を利用するときはオフにして使用してください。

NOTE

- 本機を単体でご使用になるときにローカルコントロールをオフにすると、鍵盤を弾いても音が出なくなりますのでご注意ください。

- 1 設定ボタンを押してローカルコントロール オン/オフの設定画面にします(通常の状態から8回ボタンを押します)。

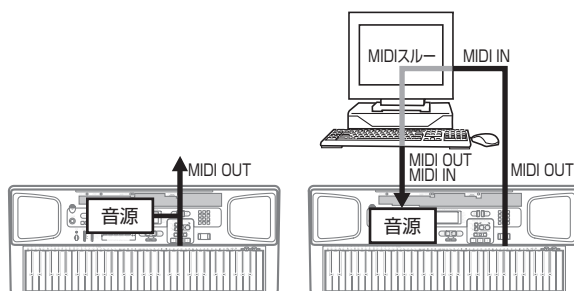
例: ローカルコントロールはオンの状態です。

on Local

- 2 +/−ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例: ローカルコントロールをオフにします。

off Local



★ローカルオンの状態

鍵盤の演奏は本体内の音源で鳴らし、同時にMIDIアウト端子からもMIDIメッセージを送ります。

★ローカルオフの状態

鍵盤の演奏はMIDIアウト端子からMIDIメッセージとして送られますが、本体内の音源は直接鳴らしません。MIDIメッセージを受信したコンピューター側のMIDIスルーを利用することで、本体内の音源にMIDIメッセージが送り返され音が鳴ります。

ア कंप MIDI アウト オン/オフの設定 (初期値: オフ)

自動伴奏の内容を外部の音源で鳴らしたいときにこの機能をオンにします。

- ア कंप MIDI アウトがオン (on) の場合:

自動伴奏を鳴らしたとき、そのMIDIメッセージをMIDIアウト端子から送信します。
- ア कंप MIDI アウトがオフ (off) の場合:

自動伴奏を鳴らしたとき、そのMIDIメッセージはMIDIアウト端子から送信されません。

1. 設定ボタンを押してア कंप MIDI アウト オン/オフの設定画面にします(通常の状態から9回ボタンを押します)。

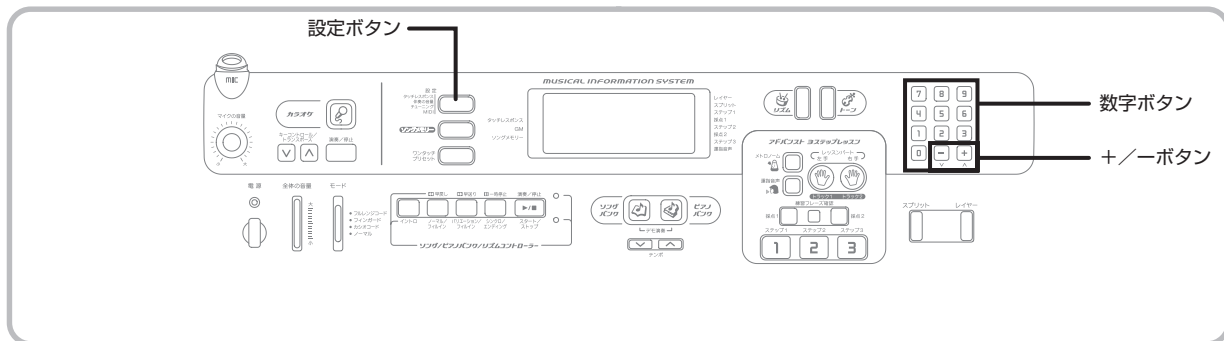
例: ア कंप MIDI アウトはオフの状態です。

off AcompOut

2. +/−ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例: ア कंप MIDI アウトをオンにします。

on AcompOut



アサイン端子の設定 (初期値 : SUS)

フットペダルの機能を設定します。

- **サステイン (SUS) を選んだ場合 :**
ペダルを踏むとサステイン効果*1 がかかります。
- **ソステヌート (SoS) を選んだ場合 :**
ペダルを踏むとソステヌート効果*2 がかかります。
- **ソフト (Sft) を選んだ場合 :**
ペダルを踏むとその時に弾いた音が小さくなります。
- **リズム (rHy) を選んだ場合 :**
ペダル操作でスタート/ストップボタンと同じ動きをします。

1 設定ボタンを押してアサインブルジャックの設定画面にします (通常の状態から 10 回ボタンを押します)。

例 : アサインブルジャックはサステインが選ばれています。



2 +/- ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例 : リズムに変更します。



※ 1 サステイン効果

ピアノなどの減衰系の音色ではダンパーペダルと同じように鍵盤で弾いた音に余韻が残り、オルガンなどの持続音ではペダルを離すまで鍵盤で弾いた音が鳴り続けます。なお、どちらの場合でもペダルを踏んでいる間に弾き直した音に対しても効果があります。

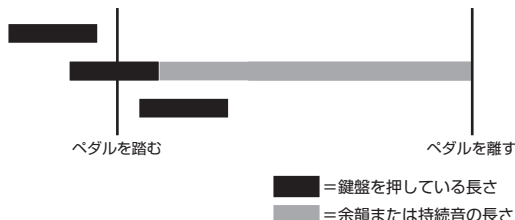
※ 2 ソステヌート効果

ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音のみ、サステイン効果と同じ効果がつきます。ペダルを押している間に弾き直した音には効果がありません。

★設定がサステイン(SUS)の場合



★設定がソステヌート(SoS)の場合



■ = 鍵盤を押している長さ
■ = 余韻または持続音の長さ

サウンドレンジシフトの設定 (初期値 : on)

特定の音色に対して鍵盤演奏時の音を 1 オクターブずらします。音色については「音色別発音域表」(63 ページ) を参照してください。

● **サウンドレンジシフトがオン (on) の場合**

“低域楽器” は 1 オクターブ低く、“020 グロックンシュピール” / “095 ピッコロ” は 1 オクターブ高く発音されます。

● **サウンドレンジシフトがオフ (oFF) の場合**

“低域楽器”、“020 グロックンシュピール” / “095 ピッコロ” が通常どおり発音されます。

1 設定ボタンを押してサウンドレンジシフトの設定画面にします (通常の状態から 11 回ボタンを押します)。



- ② + / - ボタンまたは数字ボタンで設定を変更します。

例：OFF に変更します。



本機で送受信可能なメッセージ

MIDI の規格では、さまざまなメッセージが決められています。ここでは本機が送受信できるメッセージについて説明します。なお、(*) 印のついたメッセージは、本機全体に対して働くメッセージ、それ以外は特定のチャンネルに対して働くメッセージです。

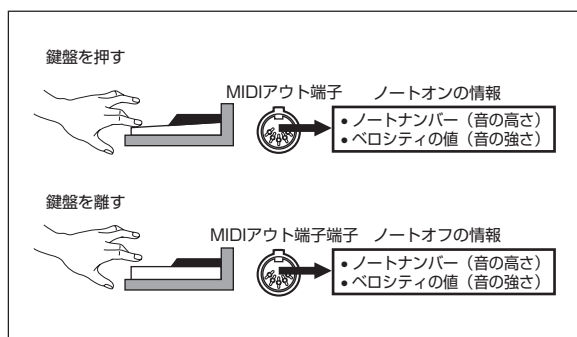
《ノートオン/オフ》

キーボードを弾いた（ノートオン）、離れた（ノートオフ）という情報を送るためのメッセージです。ノートオン/オフのメッセージには、

- ノートナンバー…キーボードでどの音を弾いたか/離れたかを表す情報
- ベロシティ…鍵盤を弾いた強さを 1～127 の数値で表した情報

が含まれます。通常ノートオンのベロシティは、音の強弱を付けるのに使用します。なお、本機はノートオフのベロシティは受信しません。

本機のキーボードを弾いたり離したりしたときには、MIDI アウト端子からノートオン/オフのメッセージが出力されます。



NOTE

- 出る音の高さは音色によって異なります (63 ページ「音色別発音域表」参照)。本機の受信したノートナンバーが、その音色の発音域より高いか低いときは、同じ音名で一番近い発音域内の音 (オクターブ違いの音) に置き代えて発音します。

《プログラムチェンジ》

音色を選ぶためのメッセージです。プログラムチェンジには、0～127 の音色情報が含まれています。本機のパネル上で音色番号を選ぶと、同時に MIDI アウト端子からプログラムチェンジのメッセージが出力されます。同じように外部機器からプログラムチェンジ情報を送ることで本機の音色を変えることができます。

NOTE

- 0～127 は本機の 128 音色に対応しています。ただし、チャンネル 10 だけはドラム音色専用チャンネルで 0、8、16、24、25、32、40、48、62 が本機のドラムセット 9 音色に対応しています。

《ピッチベンド》

演奏中にピッチ（音の高さ）を滑らかに上下させるためのメッセージです。本機ではピッチベンド情報は送信しません。受信は可能です。

《コントロールチェンジ》

演奏中の音にビブラートやボリューム変化などの効果を加えるためのメッセージです。それぞれのコントロールチェンジには、

- **コントロールナンバー…効果の種類を区別する番号**
- **コントロール値…効果の深さ、オン/オフの設定**

という情報が含まれています。本機は次のコントロールチェンジを送受信可能です。

本機が送受信可能なコントロールチェンジ/コントロールナンバー

コントロールチェンジ	コントロールナンバー
バンクセレクト*1	0、32
★モジュレーション	1
★ボリューム	7
★パン	10
★エクスプレッション	11
ホールド1	64
ソステヌート	66
ソフトペダル	67
RPN*2	100 / 101
データエントリー	6 / 38

★印のメッセージは受信のみです。

※1 外部MIDI機器から本機の音色を選ぶ場合、プログラムチェンジ情報にバンクセレクトを組み合わせることで255種類すべての音色を選ぶことができます。255種類の音色は次の3つのバンクに分かれています。

- バンク 0 : GM128音色(プログラムチェンジ0~127)
- バンク 1 : パネル118音色(プログラムチェンジ0~117)
- バンク 120 : ドラムセット9音色(プログラムチェンジ0, 8, 16, 24, 25, 32, 40, 48, 62)

プログラムチェンジ情報の直前に「コントロールナンバー0・コントロール値=バンクナンバー」と「コントロールナンバー32・コントロール値=0」を連続して送信することで、指定したバンクの音色が選ばれます。

例：パネル音色96番(フルート1)を外部MIDI機器から選ぶ場合は、
 コントロールナンバー0・コントロール値=1(バンクナンバー)
 コントロールナンバー32・コントロール値=0
 プログラムチェンジ=96
 を続けて送信します。

※2 RPN (Registered Parameter Number) は、複数のコントロールチェンジを組み合わせる特殊なコントロールチェンジです。コントロールナンバー100と101のコントロール値でコントロールする要素を選び、データエントリー(コントロールナンバー6/38)のコントロール値で値を設定します。

本機では、外部MIDI機器から本機のピッチベンドセンス(ピッチベンドデータによる音高の変化幅)、トランスポーズ(本機全体の音の高さを半音単位で調節する機能)、チューン(本機全体の音の高さを微調整する機能)をコントロールするのにRPNを使用します。

NOTE

- フットペダルによるサスティン/ソステヌート/ソフトの効果も送受信されます(コントロールナンバー64、66、67)。

《オールサウンドオフ》

そのチャンネルで現在鳴っている音を、すべて強制的に消音するメッセージです。

《オールノートオフ》

そのチャンネルでノートオン情報で持続させている音を、すべて消音するメッセージです。

※ サスティンペダルやソステヌートペダルを使って持続させている音は、ペダルをオフにするまで発音を続けます。

《リセットオールコントローラー》

ピッチベンドや各種のコントロールチェンジを初期状態に戻すメッセージです。

《システムエクスクルーシブ》(*)

システムエクスクルーシブとは、音色の細かい設定などその機種固有の機能をコントロールするのに使用するメッセージです。本来システムエクスクルーシブは特定の機種に対してのみ有効ですが、メーカーや機種が変わっても共通に使えるユニバーサルシステムエクスクルーシブと呼ばれるメッセージもあります。

本機は、次のエクスクルーシブメッセージに対応しています。

● GM システムオン ([F0][7E][7F][09][01][F7])

外部MIDI機器から本機をGMシステムオンの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

※ GM システムオンは他のメッセージよりも処理時間がかかります。このためシーケンサーにGMシステムオンを記録する場合は、次のメッセージまで50msec以上間隔をあけるようにしてください。

● GM システムオフ ([F0][7E][7F][09][02][F7])

外部MIDI機器から本機をGMシステムオフの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

困ったときは

現象

鍵盤を押しても音が出ない。

電池で使用していて、下記の状態になった。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。
- マイクの音量が小さくなった。
- マイクの音質が劣化した。
- マイクを使うと電源ランプが暗くなる。
- マイクを使うと電源が切れる。
- MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。

原因

1. 電源が正しくセットされていない。
2. 電源が入っていない。
3. 音量が下がっている。
4. モードスイッチが“カシオコード”や“フィンガード”の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。
5. ローカルコントロールがオフになっている。
6. MIDI INのデータにより、ボリューム、エクスプレッションが“0”になっている。

電池が消耗している。

解決方法

1. ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕ ⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。
2. 電源ボタンを押す。
3. 全体の音量スライダーを上げる。
4. モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。
5. 設定ボタンから、ローカルコントロールをオンにしてください。
6. 各パラメーターを調節してください。

新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。

参照

- ☞ 11ページ
- ☞ 16ページ
- ☞ 16ページ
- ☞ 33ページ
- ☞ 51ページ
- ☞ 54ページ

☞ 11ページ

現象	原因	解決方法	参照
自動伴奏の音が鳴らない。	伴奏の音量が"000"になっている。	設定ボタンを使って伴奏の音量を上げる。	☞ 47ページ
鍵盤を強く強く弱で音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	設定ボタンを使ってオンの状態にする。	☞ 46ページ
液晶画面の鍵盤表示が点灯したままになっている。	ステップ1または2で正しい鍵盤が押されているのを待っている状態。	1. 点灯している鍵盤を押して、ステップ1または2での演奏を続ける。 2. 演奏/停止ボタンでステップ1または2での演奏を中止する。	☞ 25, 26ページ
他のMIDI楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が"00"以外になっている。	キーコントロール/トランスポーズボタンまたは設定ボタンでトランスポーズとチューニングの設定を"00"にする。	☞ 46, 47ページ
自動伴奏やリズムが録音できない。	録音トラックにトラック2を指定している(トラック2はメロディー専用トラックです)。	録音待機の状態からトラック指定ボタンでトラック1を選ぶ。	☞ 39ページ
コンピュータでGM対応データを再生すると、再生された音と、そのとき画面で点灯した鍵盤を押したときに、発音される音がずれている。	サウンドレンジシフトがあっていない。	設定ボタンで、サウンドレンジシフトを設定しなおす。	☞ 52ページ
コンピュータとMIDI接続しているとき、鍵盤を弾くと発音が不自然になる。	コンピュータ側のMIDIスルー機能がオンになっている。	コンピュータ側のMIDIスルー機能をオフにするか、本機の設定ボタンでローカルコントロールをオフにする。	☞ 51ページ
コード伴奏の演奏情報をコンピュータに録音できない。	ア坎ブMIDIアウトがオフになっている。	設定ボタンでア坎ブMIDIアウトをオンにする。	☞ 51ページ
マイクの音が出ない。	1. マイクの音量が絞られている。 2. マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチがオフ(OFF)になっている。	1. マイクの音量を上げる。 2. マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチをオン(ON)にする。	☞ 30ページ ☞ 30ページ
マイクを使っているときに雑音が入る。	1. 指定以外のマイクを使用している。 2. 蛍光灯などのノイズ源が近くにある。	1. 全体が金属シールドされたキャノン型マイクを使用する。 2. ノイズ源からマイクを離す。	☞ 30ページ

トーンリスト

●パネルトーン	
ピアノ	
000	ステレオピアノ
001	グランドピアノ
002	ブライトピアノ
003	メローピアノ
004	モダンピアノ
005	ダンスピアノ
006	ストリングスピانو
007	ホンキートンク
008	オクターブピアノ
009	エレクトリックグランドピアノ
010	モダンエレクトリックグランド
011	エレクトリックピアノ
012	コーラスエレピ
013	モダンエレクトリックピアノ
014	ソフトエレクトリックピアノ
015	エレピパッド
016	ハーブシコード
017	カップルハーブシコード
018	クラビ
クロマチックパーカッション	
019	チェレスタ
020	グロッケンシュピール
021	ビブラフォン
022	マリンバ
オルガン	
023	ドローバーオルガン 1
024	ドローバーオルガン 2
025	ドローバーオルガン 3
026	パーカッシブオルガン 1
027	パーカッシブオルガン 2
028	エレクトリックオルガン 1
029	エレクトリックオルガン 2
030	ジャズオルガン
031	ロックオルガン
032	チャーチオルガン
033	チェベルオルガン
034	アコーディオン
035	オクターブアコーディオン
036	バンドネオン
037	ハーモニカ
ギター	
038	ナイロンストリングスギター
039	スチールストリングスギター
040	12弦ギター
041	ジャズギター
042	オクターブジャズギター
043	クリーンギター

044	エレクトリックギター
045	ミュートギター
046	オーバードライブギター
047	ディストーションギター
048	フィードバックギター
ベース	
049	アコースティックベース
050	ライドベース
051	フィンガーベース
052	ピックベース
053	フレットレスベース
054	スラップベース
055	ソーシンセベース
056	スクエアシンセベース
ストリングス/オーケストラ	
057	バイオリン
058	スローバイオリン
059	チェロ
060	ピチカート
061	ハーブ
アンサンブル	
062	ストリングス
063	スローストリングス
064	チェンバー
065	シンセストリングス 1
066	シンセストリングス 2
067	クワイア アー
068	クワイア
069	ボイス ドゥー
070	シンセボイス
071	シンセボイスパッド
072	オーケストラヒット
ブラス	
073	トランペット
074	トロンボーン
075	チューバ
076	ミュートトランペット
077	フレンチホルン
078	ブラス
079	ブラスセクション
080	ブラススフォルツァンド
081	アナログシンセブラス
082	シンセブラス 1
083	シンセブラス 2
リード	
084	ソプラノサククス
085	アルトサククス 1
086	アルトサククス 2
087	プレッシーアルトサククス
088	テナーサククス 1

089	テナーサクソ 2
090	プレッシーテナーサクソ
091	テナーサクソィーズ
092	バリトンサクソ
093	オーボエ
094	クラリネット
パイプ	
095	ピッコロ
096	フルート 1
097	フルート 2
098	メローフルート
099	リコーダー
100	パンフルート
101	ホイッスル
シンセリード	
102	スクエアリード
103	ソートゥースリード
104	サインリード
105	カリオペ
106	ボイスリード
107	ベース+リード
シンセパッド	
108	ファンタジー
109	ウォームパッド
110	ウォームボイス
111	ポリシンセ
112	ポリソートゥース
113	ボウパッド
114	ヘイロパッド
115	アトモスフィア
116	ブライトネス
117	エコーパッド

● GM トーン	
ピアノ	
118	ピアノ 1
119	ピアノ 2
120	ピアノ 3
121	ホンキートンク GM
122	エレピ 1 GM
123	エレピ 2 GM
124	ハーブシコード GM
125	クラビ GM
クロマチックパーカッション	
126	チェレスタ GM
127	グロッケンシュピール オクターブ
128	ミュージックボックス
129	ビブラフォン GM
130	マリンバ GM
131	シロフォン
132	チューブラーベル
133	ダルシマー
オルガン	
134	オルガン 1
135	オルガン 2
136	オルガン 3
137	パイプオルガン
138	リードオルガン
139	フレンチアコーディオン
140	ハーモニカ GM
141	バンドネオン GM
ギター	
142	ナイロンストリングスギター オクターブ
143	スチールストリングスギター オクターブ
144	ジャズギター オクターブ
145	クリーンギター オクターブ
146	ミュートギター オクターブ
147	オーバードライブギター オクターブ
148	ディストーションギター オクターブ
149	ギターハーモニクス
ベース	
150	アコースティックベース オクターブ
151	フィンガーベース オクターブ
152	ピックベース オクターブ
153	フレットレスベース オクターブ
154	スラップベース 1 オクターブ
155	スラップベース 2 オクターブ
156	シンセベース 1
157	シンセベース 2
ストリングス/オーケストラ	
158	バイオリン GM
159	ビオラ
160	チェロ GM
161	コントラバス
162	トレモロストリングス

163	ピチカート GM
164	ハーブ GM
165	ティンパニ
アンサンブル	
166	オーケストラストリングス 1
167	オーケストラストリングス 2
168	ソーシンセストリングス 1
169	ソーシンセストリングス 2
170	ボイス アー
171	ボイス ドゥー GM
172	シンセボイス GM
173	オーケストラヒット GM
ブラス	
174	トランペット GM
175	トロンボーン オクターブ
176	チューバ オクターブ
177	ミュートトランペット GM
178	フレンチホルン オクターブ
179	ブラス GM
180	シンセブラス 1 GM
181	シンセブラス 2 GM
リード	
182	ソプラノサククス GM
183	アルトサククス オクターブ
184	テナーサククス オクターブ
185	バリトンサククス オクターブ
186	オーボエ GM
187	イングリッシュホルン
188	バスーン
189	クラリネット GM
パイプ	
190	ピッコロ オクターブ
191	フルート GM
192	リコーダー GM
193	パンフルート GM
194	ボトルブロー
195	尺八
196	ホイッスル GM
197	オカリナ
シンセリード	
198	スクエアウェーブ
199	ソートゥースウェーブ
200	カリオペリード
201	チフリード
202	チャラン
203	ソロボイス
204	フィフスリード
205	ベースリード
シンセパッド	
206	ニューエイジ
207	ウォームシンセ
208	ポリシンセ GM

209	スペースクワイア
210	ボウグラス
211	メタリックパッド
212	ヘイロシンセ
213	スイープパッド
シンセSFX	
214	レインドロップ
215	サウンドトラック
216	クリスタル
217	アトモスフィアパッド
218	ブライトパッド
219	ゴブリン
220	エコー
221	サイエンスフィクション
エスニック	
222	シタール
223	バンジョー
224	三味線
225	琴
226	カリンバ
227	バグパイプ
228	フィドル
229	シャナイ
パーカッション	
230	ティンクルベル
231	アゴゴ
232	スチールドラム
233	ウッドブロック
234	太鼓
235	メロディックタム
236	シンセドラム
237	リバースシンバル
サウンドエフェクト	
238	ギターフレットノイズ
239	ブレスノイズ
240	シーショアー
241	バード
242	テレホン
243	ヘリコプター
244	アプローズ
245	ガンショット

●ドラムセット	
246	スタンダードセット
247	ルームセット
248	パワーセット
249	エレクトリックセット
250	シンセセット
251	ジャズセット
252	ブラッシュセット
253	オーケストラセット
254	ボイスセット

リズムリスト

ポップス 1		ロック 2		ラテン2/その他 1	
000	ポップ 1	040	ロック 1	080	サルサ
001	ワールドポップ	041	ロック 2	081	レゲエ
002	ソウルバラード 1	042	ポップロック 3	082	ブンタ
003	ポップシャッフル	043	リフロック	083	クンビア
004	ポップバラード	044	ヘビーメタル	084	パソドブレ
005	ポップ 2	045	5 0' Sロック	085	ルンバカタラナ
006	バラード	046	ツイスト	086	セビリヤナ
007	フュージョンシャッフル	047	ニューオーリンズロック	087	スカ
008	ポップ 3	048	シカゴブルース	088	テックスメックス
009	ソウルバラード 2	049	リズム&ブルース	089	フォルクローレ
ポップス 2		ジャズ/フュージョン		その他 2	
010	1 6 ビート 1	050	ビッグバンド	090	カントリー
011	1 6 ビート 2	051	ジャズボイス	091	ブルークラス
012	1 6 ビート 3	052	スローシング	092	タウンシップ
013	8 ビート 1	053	スイング 1	093	ゴスペル 1
014	8 ビート 2	054	スイング 2	094	ゴスペル 2
015	8 ビート 3	055	フォックストロット	095	ライ
016	ポップ 4	056	モダンジャズ	096	アダニ
017	ダンスポップ	057	アシッドジャズ	097	バラディ
018	ポップフュージョン	058	ラテンフュージョン	098	演歌
019	ポップワルツ	059	ジャズワルツ	099	ストリングカルテット
ダンス/ファンク		ヨーロピアン		フォーピアノ 1	
020	ジャングル	060	ポルカ 1	100	ピアノバラード 1
021	レイブ	061	ポルカ 2	101	ピアノバラード 2
022	テクノ	062	マーチ 1	102	ピアノバラード 3
023	グルーブソウル	063	マーチ 2	103	エレビバラード 1
024	ディスコ	064	スローワルツ	104	エレビバラード 2
025	ユーロビート	065	ウィンナワルツ	105	ブルースバラード
026	ラップ	066	ワルツ 1	106	メロージャズ
027	トランス	067	フレンチワルツ	107	ジャズコンボ
028	ファンク	068	セレナード	108	ラグタイム
029	ベリーファンキー	069	タンゴ	109	ブギウギ
ロック 1		ラテン1		フォーピアノ 2	
030	ロックワルツ	070	ボサノバ 1	110	アルベジオ 1
031	スローロック 1	071	ボサノバ 2	111	アルベジオ 2
032	スローロック 2	072	サンバ 1	112	アルベジオ 3
033	ソフトロック 1	073	サンバ 2	113	ピアノバラード 4
034	ソフトロック 2	074	ジャズサンバ	114	6/8 マーチ
035	ソフトロック 3	075	マンボ	115	マーチ 3
036	フォーキーポップ	076	ルンバ	116	2 ビート
037	ポップロック 1	077	チャチャチャ	117	ワルツ 2
038	6 0' Sソウル	078	メレンゲ	118	ワルツ 3
039	ポップロック 2	079	ボレロ	119	ワルツ 4

ソングリスト

ソングバンク／カラオケリスト

00	ヒーロー「スパイダーマン」より
01	コンプリケイテッド
02	ヒーロー
03	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン 「タイタニック」より
04	ハッピー・バースデイ・トゥ・ユー
05	おめでとうクリスマス
06	ジングル・ベル
07	きよしこの夜
08	もろびとこぞりて
09	もみの木
10	聖者の行進
11	グリーンズリーブス
12	アメイジング・グレイス
13	ほたるの光
14	きらきら星
15	大きな栗の木の下で
16	ぶんぶんぶん
17	ロング・ロング・アゴー
18	かわいいオーガスチン
19	森のくまさん
20	大きな古時計
21	こげよマイケル
22	ダニー・ボーイ（ロンドンデリーの歌）
23	アニー・ローリー
24	マイ・ボニー
25	愛しのクレメンタイン（雪山讃歌）
26	クラリネットをこわしちゃった
27	線路は続くよどこまでも
28	茶色の小びん
29	オーラ・リー
30	おお スザンナ
31	朝日のあたる家
32	黄色いリボン
33	草競馬
34	スワニー河（故郷の人々）
35	アルプス一万尺
36	赤い河の谷間
37	わらの中の七面鳥
38	ケンタッキーの我が家
39	峠の我が家
40	さらばジャマイカ
41	ラ・クカラチャ
42	アロハ・オエ
43	さくら さくら

44	アイヨママ（ねえママ）
45	ラ・パロマ
46	サンタ・ルチア
47	トロイカ
48	森へ行きましょう
49	ワルツィング・マチルダ (ウォルシング・マチルダ)

ピアノバンクリスト

ピアノ練習曲集	
00	メヌエット (J. S. バッハ)
01	ガボット (ゴセック)
02	アラベスク (ブルグミュラー)
03	ショプスティックス
04	楽しき農夫
05	インヴェンション 第1番
06	アヴェ・マリア (グノー)
07	主よ、人の望みの喜びよ
08	カノン (パッヘルベル)
09	ソナチネ 作品36 第1楽章
10	ソナタ 作品13「悲愴」第2楽章
11	ソナタ K. 331 第1楽章
12	プレリュード 作品28の7 (ショパン)
13	異国から
14	ジュ・トゥ・ヴ
15	夢
16	喜びの歌
17	セレナード 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
18	家路「新世界から」より
19	夢路より

ピアノ名曲集	
20	エリーゼのために
21	トルコ行進曲 (モーツァルト)
22	エンターティナー
23	メープル・リーフ・ラグ
24	ジムノペディ 第1番
25	別れの曲
26	ソナタ 作品27の2「月光」第1楽章
27	ハンガリー舞曲 第5番
28	トロイメライ
29	亜麻色の髪の乙女
30	ユーモレスク (ドヴォルザーク)
31	プロムナード「展覧会の絵」より
32	楽興の時 作品94の3
33	白鳥「動物の謝肉祭」より
34	小犬のワルツ
35	闘牛士の歌 組曲「カルメン」より
36	ラルゴ (ヘンデル)
37	結婚行進曲「真夏の夜の夢」より
38	アメリカン・パトロール
39	クシコス・ポスト
40	人形の夢と目覚め
41	貴婦人の乗馬
42	ソナタ K. 545 第1楽章
43	乙女の祈り
44	トルコ行進曲 (ベートーヴェン)
45	ノクターン 作品9の2 (ショパン)
46	愛の夢 第3番
47	軍隊行進曲 第1番
48	花の歌
49	華麗なる大円舞曲

音色別発音域表

音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ
0	12	A	10	12	A	20	24	B	30	12	A	40	12	C
1	24	A	11	24	A	21	24	A	31	12	A	41	24	C
2	24	A	12	12	A	22	24	A	32	12	A	42	12	C
3	24	A	13	12	A	23	12	A	33	12	A	43	24	C
4	12	A	14	12	A	24	12	A	34	12	A	44	12	C
5	24	A	15	12	A	25	12	A	35	12	A	45	24	C
6	12	A	16	12	A	26	12	A	36	12	A	46	24	C
7	12	A	17	12	A	27	12	A	37	24	A	47	24	C
8	12	A	18	24	A	28	12	A	38	24	C	48	12	C
9	12	A	19	24	A	29	12	A	39	24	C	49	24	C

音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ
50	12	C	60	24	A	70	12	A	80	12	A	90	12	C
51	24	C	61	24	A	71	12	A	81	12	A	91	12	C
52	24	C	62	24	A	72	12	A	82	12	A	92	24	C
53	24	C	63	24	A	73	24	A	83	12	A	93	24	A
54	24	C	64	12	A	74	24	C	84	24	A	94	24	A
55	24	C	65	24	A	75	24	C	85	24	C	95	24	B
56	24	C	66	12	A	76	24	A	86	24	C	96	24	A
57	24	A	67	24	A	77	12	C	87	12	C	97	24	A
58	24	A	68	24	A	78	24	A	88	24	C	98	12	A
59	24	C	69	24	A	79	12	A	89	24	C	99	24	A

音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ
100	24	A	111	12	A	120	12	A	130	24	A	140	24	A
101	24	A	111	12	A	121	12	A	131	24	A	141	12	A
102	12	A	112	12	A	122	24	A	132	24	A	142	24	A
103	12	A	113	12	A	123	24	A	133	12	A	143	24	A
104	12	A	114	12	A	124	24	A	134	12	A	144	24	A
105	12	A	115	12	A	125	24	A	135	12	A	145	24	A
106	12	A	116	12	A	126	24	A	136	12	A	146	24	A
107	12	A	117	12	A	127	24	A	137	12	A	147	24	A
108	12	A	118	24	A	128	12	A	138	24	A	148	24	A
109	24	A	119	24	A	129	24	A	139	12	A	149	24	A

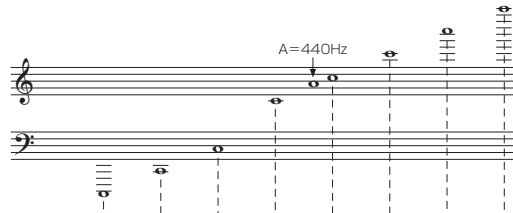
音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ
150	24	A	160	24	A	170	24	A	180	12	A	190	24	A
151	24	A	161	24	A	171	24	A	181	12	A	191	24	A
152	24	A	162	24	A	172	12	A	182	24	A	192	24	A
153	24	A	163	24	A	173	12	A	183	24	A	193	24	A
154	24	A	164	24	A	174	24	A	184	24	A	194	12	A
155	24	A	165	24	A	175	24	A	185	24	A	195	24	A
156	24	A	166	24	A	176	24	A	186	24	A	196	24	A
157	24	A	167	24	A	177	24	A	187	24	A	197	24	A
158	24	A	168	24	A	178	12	A	188	24	A	198	12	A
159	24	A	169	12	A	179	24	A	189	24	A	199	12	A

音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ	音色番号	同時発音数	音域のタイプ
200	12	A	210	12	A	220	12	A	230	24	A	240	12	D
201	12	A	211	12	A	221	12	A	231	24	A	241	24	D
202	12	A	212	12	A	222	24	A	232	12	A	242	24	D
203	12	A	213	12	A	223	24	A	233	24	D	243	24	D
204	12	A	214	12	A	224	24	A	234	24	D	244	12	D
205	12	A	215	12	A	225	24	A	235	24	D	245	24	D
206	12	A	216	12	A	226	24	A	236	12	D	246	24	D
207	24	A	217	12	A	227	12	A	237	24	D	247	24	D
208	12	A	218	12	A	228	12	A	238	24	A	248	24	D
209	12	A	219	12	A	229	24	A	239	24	A	249	24	D





音色番号	同時発音数	音域のタイプ
250	24	D
251	24	D
252	24	D
253	24	D
254	24	D

NOTE

- 音域のタイプ (A～D) は64ページの表を参照してください。



音域のタイプ	C-1	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	G7	C8	C9	G9
A (標準タイプ)				[Piano keyboard diagram for Type A, spanning C2 to G7]									
B (⁰²⁰ グロッケンシュベル/ ⁰⁹⁵ ピッコロ)				[Piano keyboard diagram for Type B, spanning C3 to C8]									
C (低域楽器)			[Piano keyboard diagram for Type C, spanning C1 to C7]										
D (サウンドエフェクト)	音階のない音色												

- a 鍵盤演奏時の音域 (サウンドレンジ シフト オン)
- b 鍵盤演奏時の音域 (サウンドレンジ シフト オフ)
- c 発音可能音域 (トランスポーズ、MIDIの受信時)
- d cの範囲の一番近い同名の音に置き代わる音域 (トランスポーズ、MIDIの受信時)

ドラム音色リスト

番号/ノートンバー	Drumset 1 STANDARD SET	Drumset 2 ROOM SET	Drumset 3 POWER SET	Drumset 4 ELEC SET	Drumset 5 SYNTH SET	Drumset 6 JAZZ SET	Drumset 7 BRUSH SET	Drumset 8 ORCHESTRA SET	Drumset 9 VOICE SET
E1 28	HIGH O SLAP							CLOSED HI-HAT PEDAL HI-HAT	
F1 29	SCRATCH PUSH							OPEN HI-HAT	
G1 31	STICKS							RIDE CYMBAL 1	
A1 33	SQUARE CLICK METRONOME BELL								
B1 35	ACQUSTIC BASS DRUM	POWER BASS DRUM 2	POWER BASS DRUM 1	POWER BASS DRUM 2 ELEC BASS DRUM	SYNTH BASS DRUM 2 SYNTH BASS DRUM 1	JAZZ BASS DRUM 2 JAZZ BASS DRUM 1	JAZZ BASS DRUM 2 JAZZ BASS DRUM 1	JAZZ BASS DRUM 1 CONCERT BASS DRUM	SYNTH BASS DRUM 1 VOICE BASS DRUM
C2 36	BASS DRUM	POWER BASS DRUM 1	POWER SNARE 1	ELEC SNARE	SYNTH RIM SHOT SYNTH SNARE 1	JAZZ SNARE 1	BRUSH TAP BRUSH SLAP	CONCERT SNARE CASTANETS	SYNTH RIM SHOT VOICE SNARE
D2 38	SIDE STICK ACQUSTIC SNARE 1	ROOM SNARE 1	POWER SNARE 1	ELEC SNARE	SYNTH SNARE 1	JAZZ SNARE 1	BRUSH TAP BRUSH SLAP	CONCERT SNARE CASTANETS	SYNTH SNARE 1
E2 40	HAND CLAP ACQUSTIC SNARE 2	ROOM SNARE 2	POWER SNARE 2	DANCE SNARE	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	BRUSH SWIRL	CONCERT SNARE	SYNTH SNARE 1
F2 41	LOW FLOOR TOM	ROOM LOW FLOOR TOM	ROOM LOW FLOOR TOM	ELEC LOW FLOOR TOM	SYNTH LOW FLOOR TOM		TIMPANI F	TIMPANI F	SYNTH LOW FLOOR TOM
G2 43	CLOSED HI-HAT HIGH FLOOR TOM	ROOM HIGH FLOOR TOM	ROOM HIGH FLOOR TOM	ELEC HIGH FLOOR TOM	SYNTH HIGH FLOOR TOM		TIMPANI G	TIMPANI G	VOICE CLOSED HI-HAT SYNTH HIGH FLOOR TOM
A2 45	PEDAL HI-HAT LOW TOM	ROOM LOW TOM	ROOM LOW TOM	ELEC LOW TOM	SYNTH CLOSED HI-HAT 2 SYNTH LOW TOM		TIMPANI A	TIMPANI A	VOICE PEDAL HI-HAT SYNTH LOW TOM
B2 47	OPEN HI-HAT LOW MID TOM	ROOM LOW MID TOM	ROOM LOW MID TOM	ELEC LOW MID TOM	SYNTH OPEN HI-HAT		TIMPANI B	TIMPANI B	VOICE OPEN HI-HAT
C3 48	HIGH MID TOM	ROOM HIGH MID TOM	ROOM HIGH MID TOM	ELEC HIGH MID TOM	SYNTH LOW MID TOM		TIMPANI C	TIMPANI C	VOICE LOW MID TOM
D3 50	CRASH CYMBAL 1	ROOM HIGH TOM	ROOM HIGH TOM	ELEC HIGH TOM	SYNTH HIGH TOM		TIMPANI D	TIMPANI D	SYNTH HIGH TOM
E3 51	RIDE CYMBAL 1	ROOM CYMBAL 1	ROOM CYMBAL 1	REVERSE CYMBAL			TIMPANI E	TIMPANI E	SYNTH CYMBAL
F3 53	RIDE BELL						TIMPANI F	TIMPANI F	
G3 55	TAMBOURINE								
A3 57	SPLASH CYMBAL				SYNTH COWBELL			CONCERT CYMBAL 2	SYNTH COWBELL
B3 59	COWBELL							CONCERT CYMBAL 1	
C4 60	CRASH CYMBAL 2								
D4 62	VIBRA-SLAP								
E4 64	HIGH BONGO								
F4 65	LOW BONGO								
G4 67	MUTE HIGH CONGA				SYNTH MUTE HIGH CONGA				SYNTH MUTE HIGH CONGA
A4 69	OPEN HIGH CONGA				SYNTH OPEN HIGH CONGA				SYNTH OPEN HIGH CONGA
B4 71	LOW CONGA				SYNTH LOW CONGA				SYNTH LOW CONGA
C4 73	HIGH TIMBALES								
D4 75	LOW TIMBALES								
E4 77	HIGH AGOGO								
F4 79	LOW AGOGO								
G4 81	CABASA				SYNTH MARACAS				SYNTH MARACAS
A4 83	MARACAS								
B4 85	SHORT WHISTLE								
C4 87	LONG WHISTLE								
D4 89	SHORT GUIRO								
E4 91	LONG GUIRO								
F4 93	CLAVES				SYNTH CLAVES				SYNTH CLAVES
G4 95	HIGH WOOD BLOCK								
A4 97	LOW WOOD BLOCK								
B4 99	MUTE GUICA								
C5 01	OPEN GUICA								
D5 03	MUTE TRIANGLE								
E5 05	OPEN TRIANGLE								
F5 07	SHAKER								
G5 09	JINGLE BELL								
A5 11	BELL TREE								
B5 13	BELL TREE								
C5 15	CASTANETS								
D5 17	MUTE SURDO								
E5 19	OPEN SURDO								
F5 21	APPLAUSE 1								
G5 23	APPLAUSE 2								

音名 / ノートナンバー	Drumset 1 STANDARD SET	Drumset 2 ROOM SET	Drumset 3 POWER SET	Drumset 4 ELEC SET	Drumset 5 SYNTH SET	Drumset 6 JAZZ SET	Drumset 7 BRUSH SET	Drumset 8 ORCHESTRA SET	Drumset 9 VOICE SET
G6 91	FANFARE								
A6 93	ONE								
B6 95	TWO								
C7 96	THREE								
	FOUR								
	FIVE								

--:なし

←: STANDARD SETと同じ

フィンガーコード一覧表

よく使われるコードの各キーでの押さえ方です。(転回形も含まれています)。

コード ルート	メジャー	m (マイナー)	7 (セブンス)	m7 (マナーセブンス)	dim7 (ディミニッシュセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	m7b5 (マナーセブンス)	dim (ディミニッシュ)	コード ルート	aug (オーギュメント)	sus4 (サスペンション)	7 sus4 (セブンスサスペンション)	m add9 (マナーセブンス)	m M7 (マナーセブンス)	7b5 (セブンス)	add9 (アドナインズ)
C									C							
C# (Db)									C# (Db)							
D									D							
Eb (D#)									Eb (D#)							
E									E							
F									F							
F# (Gb)									F# (Gb)							
G									G							
Ab (Gb)									Ab (Gb)							
A									A							
Bb (Ab)									Bb (Ab)	※						
B									B	※						

※ 伴奏鍵盤の範囲の関係で、“フィンガーコード”では指定できません。

このコードを含む曲では、“フルレンジコード” (35 ページ参照) をご利用ください。

カシオトーン用楽譜集のご紹介

多彩な音色やリズム、指一本でも本格的な演奏が楽しめる自動伴奏機能（カシオコード）などを、パーフェクトに使いこなしていただくための楽譜集です。

楽譜集

やさしく弾けるファミリーキーボードライブラリー カシオトーンランドシリーズ

CFL-101YC よこそカシオトーンランド	CFL-102HC 初めてのカシオトーン	CFL-103KU こどものうた 1	CFL-104KU こどものうた 2	CFL-107HP ヒットポップス	CFL-108NM ニューミュージック
(子供用入門) 大きな栗の木の下で 茶色のごびん かっこう 他 全37曲	(大人用入門) 河は呼んでる 500マイルはなれて 駅馬車 他 全35曲	アイアイ いぬのおまわりさん ぞうさん 他 全45曲	春がきた 赤とんぼ ハイ・ホー 他 全44曲	すべてをあなたに やさしく歌って レット・イット・ビー 他 全29曲	いとしのエリー ANNIVERSARY SUMMER CANDLES 他 全24曲
CFL-109EL イージーリスニング	CFL-111HS ヒットソング1	CFL-112HS ヒットソング2	CFL-113RK 永遠のロック		
オリーブの首飾り マイ・ウェイ ある愛の詩 他 全29曲	君がいるだけで それが大事 ラブストーリーは突然に 他 全20曲	SAY YES どんなときも 会いたい 他 全21曲	青い影 キラー・クイーン スモーク・オン・ザ・ ウオーター 他 全21曲		

★上記ご案内は、本書印刷時点でのものです（万一品切れの際はご容赦ください）。

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパート）でお求めになれます。

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

- **テレビやラジオの近くでは使わないでください。**
テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから十分に離してお使いください。
- **お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。**
鍵盤などのお手入れは、柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。
- **極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。**
液晶表示の濃淡が極端に変化し、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

製品仕様

型式	CTK-591
鍵盤	61 鍵 5 オクターブ (標準鍵) ……タッチレスポンス機能付き (オン/オフ)
音色数	118 パネルトーン+ 128 GMトーン+ 9 ドラムセット (計 255 音色) ……レイヤースプリット可
リズム楽器音色数	61 音色
同時発音数	最大 24 音 (一部音色により最大 12 音)
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・リズムコントローラー ・伴奏の音量 ・ワンタッチプリセット	120 種類 可変 (216 段階 ♩ = 40 ~ 255) 3 種類 (カシオコード/フィンガード/フルレンジコード) スタート/ストップ、イントロ、ノーマル/フィルイン、バリエーション/フィルイン、シンクロ/エンディング 0 ~ 127 (128 段階) リズムごとの推薦音色、テンポ、レイヤー、スプリット、伴奏の音量の設定呼び出し機能
<アドバンスト3ステップレッスン> 3ステップレッスン機能 ・再生方式 ・採点機能 ・連指音声機能	3 種類 (ステップ 1、2、3) 1 曲繰り返し再生 採点 1、採点 2、練習フレーズ確認機能 オン/オフ
ソングバンク/ピアノバンク機能 ・曲数 ・コントローラー	ソングバンク/カラオケ: 50 曲、ピアノバンク: 50 曲 演奏/停止、一時停止、早戻し、早送り、左手、右手
ミュージカルインフォメーション機能	音色/自動伴奏/ソングバンク/ピアノバンク/カラオケの番号および名称、五線譜、テンポ、メトロノーム、小節数/拍子、ステップレッスン表示、コード名、連指、ペダル、鍵盤、ソングバンクアイコン、ピアノバンクアイコン、カラオケアイコン、連指音声、採点機能表示
カラオケ機能 ・曲数 ・コントロール	ソングバンク/カラオケ: 50 曲 演奏/停止、キーコントロール (25 段階、- 12 半音 ~ 0 ~ + 12 半音)
メトロノーム機能 ・拍子設定	オン/オフ 1、2、3、4、5、6 拍子
ソングメモリー機能 ・曲数 ・録音トラック数 ・録音方法 ・メモリー容量	2 曲 2 (CHORD / 1、2) リアルタイム録音 約 5100 音符 (2 曲合計)
MIDI 機能	16 マルチティンバー受信、GM レベル 1 準拠
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能	25 段階 (- 12 半音 ~ 0 ~ + 12 半音) 101 段階可変 …… A4 = 約 440Hz ± 50 セント
端子 ・MIDI イン/アウト端子 ・アサインابل端子 ・ヘッドホン・アウトプット端子 ・電源端子 ・マイク入力端子	IN、OUT 標準ジャック (サスティン、ソステヌート、ソフト、リズムのスタート/ストップ) ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス 100Ω 出力電圧 4V (RMS) MAX DC9V 標準ジャック (マイクボリューム付き) 入力インピーダンス 3KΩ 入力感度 10mV
電源 ・電池 ・家庭用 100V 電源使用 ・オートパワーオフ機能	2 電源方式 単 1 形電池 6 本使用 電池持続時間: 約 6 時間 …… マンガン電池使用時 AC アダプター AD-5JL を使用 約 6 分後 (電池使用時) キャンセル可能
スピーカー出力	2.5W + 2.5W
消費電力	9V --- 7.7W
サイズ	幅 96.0 × 奥行き 37.5 × 高さ 14.5 cm
重量	約 5.3kg (電池含まず)
付属品	譜面立て、AC アダプター (AD-5JL)、取扱説明書 (本書)、保証書、楽譜集、歌詞集

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
サスティンペダル	SP-3
	SP-20
ソフトケース	SC-550B
スタンド	CS-4B
	CS-7W
イス	CB-5
	CB-7
	CB-9BN
MIDIケーブル	MK-5

楽譜集は68ページをご覧ください。

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパートなど）でお求めになれます。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

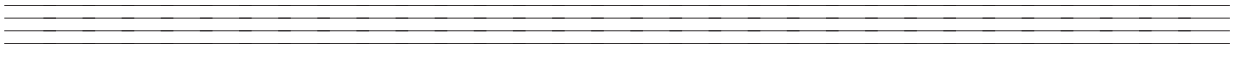
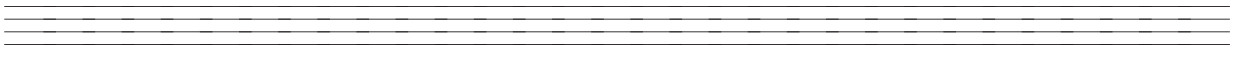
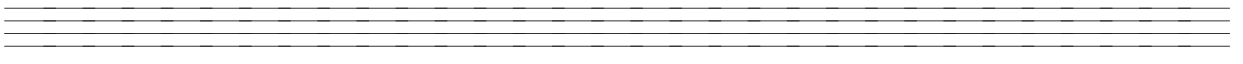
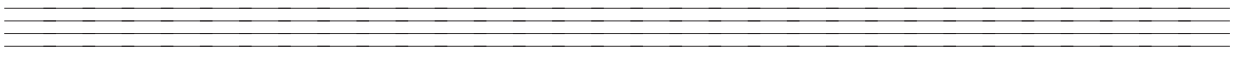
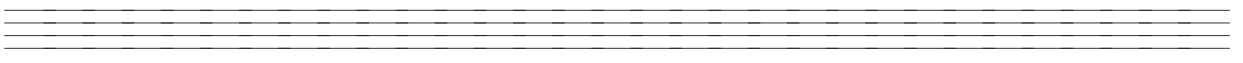
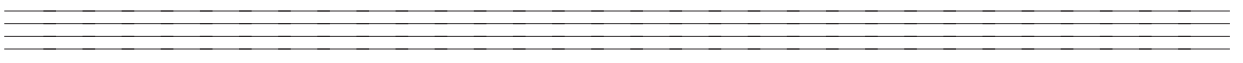
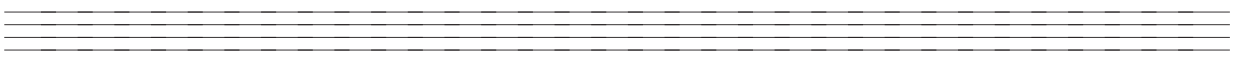
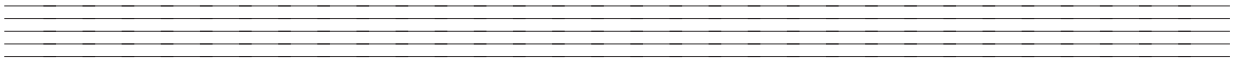
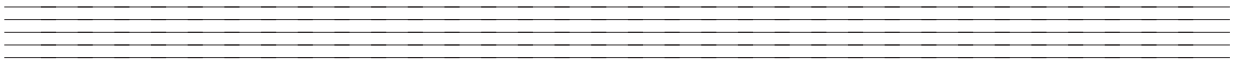
■ あらかじめご了承ください

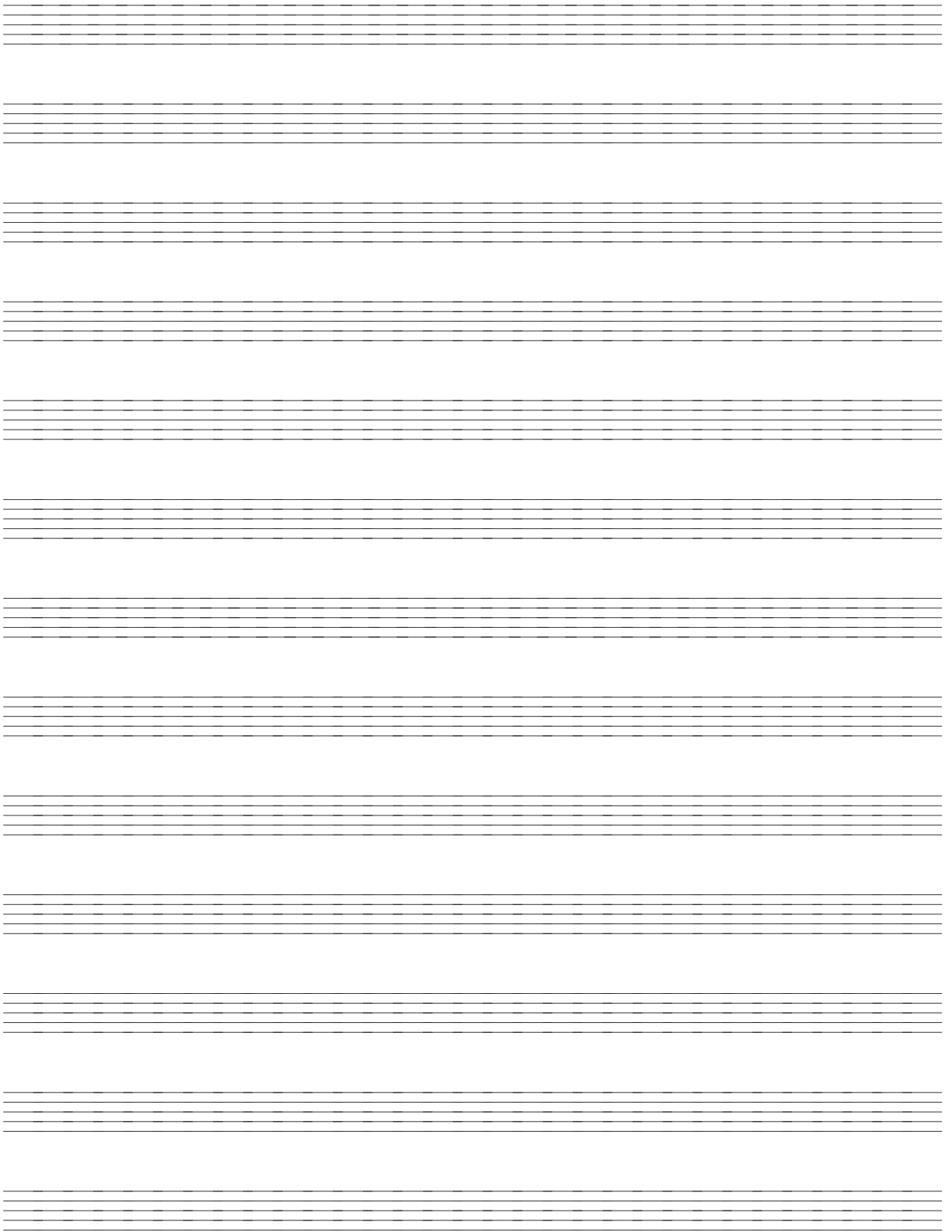
- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

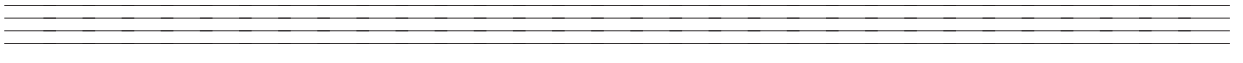
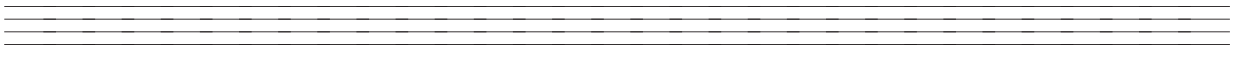
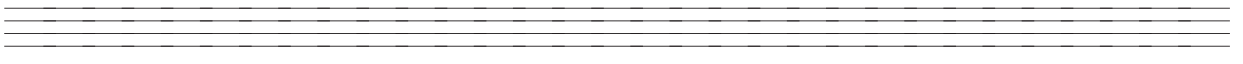
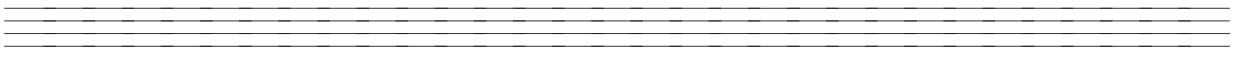
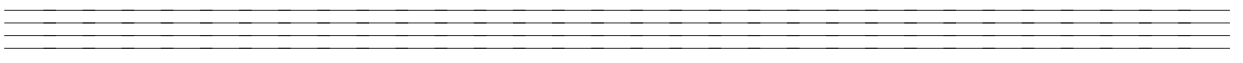
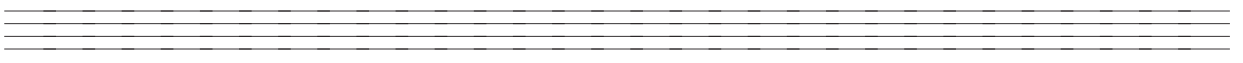
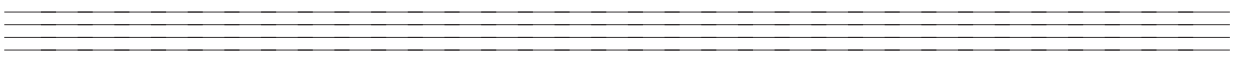
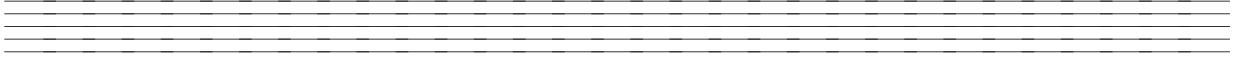
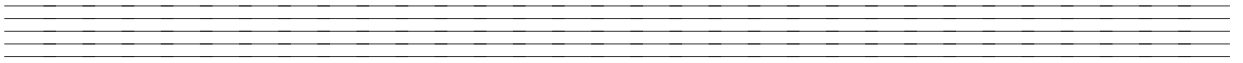
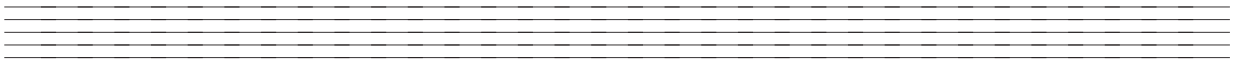
■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

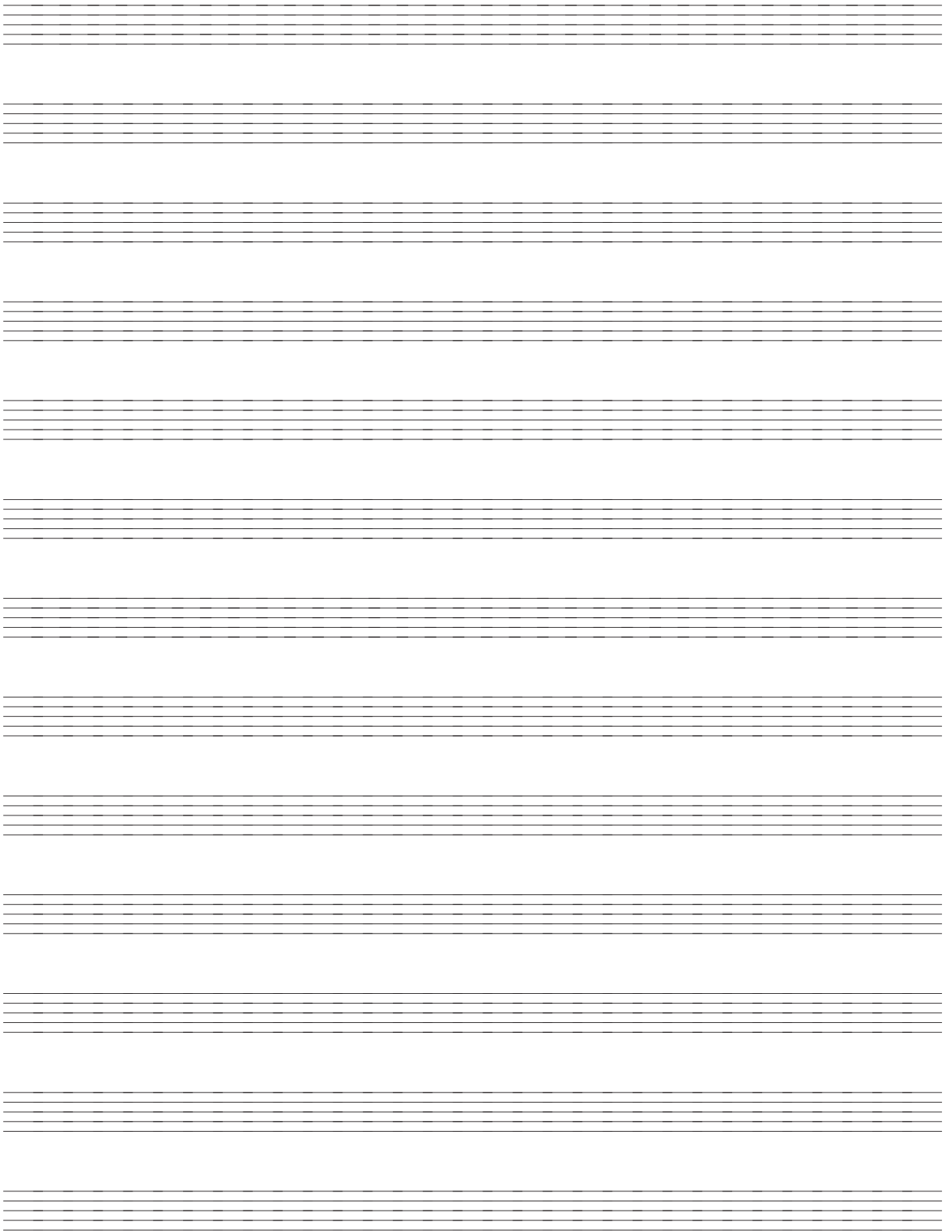
お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします









Model CTK-591 MIDI インプリメンテーション・チャート

Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲	1 ~ 16 *1 1 ~ 16	*1 : 電源供給のある間は 保持される
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 X * * * * * * * * * *	
ノート ナンバー	音域	36 ~ 96 * * * * * * * * * *	*2 : 音色による
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v = 1 ~ 127 X 9nH v = 0	** : 関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	X X *3	
ピッチ・バンド		X ○	
コントロール チェンジ	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64 66 67	○ *3 X *4 ○ *4 X X X ○ *5 ○ *5 ○ *5	バンクセレクト モジュレーション テータエントリー ボリューム パン エクスプレッション ホールド1 ソステヌート ソフトペダル

100, 101 120 121	○ *4 × ×	○ *4 ○ ○	RPN LSB, MSB オールサウンドオフ リセットオールコントローラー
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0 ~ 127 * * * * * * * *	○ 0 ~ 127 * * * * * * * *	
エクスクルーシブ	○ *6	○ *6	
コモン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	○ ○	× ×	
その他	× × × ×	× ○ ○ ×	
備考	*3 : モジュレーションとチャンネル別アフタータッチは同一効果 *4 : ファインチューン、コースチューンの送受信、およびピッチベンドセンス、RPN Nullの受信 *5 : アサイナブルジャックの設定により択一 *6 : GM オン/オフ GM ON : [F0] [7E] [7F] [09] [01] [F7] GM OFF : [F0] [7E] [7F] [09] [02] [F7]		

○ : あり
× : なし

モード1 : オムニ・オン、ポリ モード2 : オムニ・オン、モノ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ モード4 : オムニ・オフ、モノ



This recycle mark indicates that the packaging conforms to the environmental protection legislation in Germany.

これは、梱包箱がドイツの環境保護法に適合していることを示すリサイクルマークです。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

© MA0310-B Printed in China
CTK591-JA-1-Z